■ドットマトリクス表示リモコン用

ガス暖房ふろ給湯器
取扱説明書 保証書付

リモコン
NR-RB801A
NR-RK801A用

品名	機器コード	型式名
NR-AD824RFA-RA	11-049-31-03634	GTH-2417AWX3H

このたびは給湯暖房用熱源機をお求めいただきまして、まことにありがとうございます。
- この説明書をよくお読みになって、正しくご使用ください。
  なお、別売品の取扱説明書がある場合は、必ずそちらも併せてお読みください。
- 保証書(裏表紙)は必ずお買い上げ日・販売店名などの記入を確かめてください。
- この説明書(保証書付)はいつでもご覧になれるところに保管してください。

TOKYO GAS

SAQ8419

SAQ8419 1*

保証書

品名	ガス暖房ふろ給湯器 NR-AD824RFA-RA
型式名	GTH-2417AWX3H

上記本体をお買い上げいただきましてありがとうございます。この保証書は、東京ガス供給区域内において、都市ガスにてご使用になる場合に、本書記載内容で無料修理をお約束するものです。

記

1 保証期間は、お買い上げの日から2年間とし、本体（リモコン含む）を対象にします。なお、下記部品については、別途以下の年数を保証いたします。
電装基板・リモコン(電装基板に起因する故障のみ)……3年
2 万一故障の場合は、お買い上げの販売店または、もよりの東京ガスへお申し出ください。原則として、出張修理いたします。
3 サービス員がお伺いした時に、本証書をご提示下さい。
4 保証期間内においても、次の場合は有償修理といたします。
(1) 住宅用途以外でご使用になる場合の不具合
(2) 取扱説明書等の記載事項によらないでご使用した場合の不具合
(3) 器具を調整、改造された場合の不具合(但し、当社都合の場合はのぞきます)
(4) お買い上げ後、取付場所の移動、落下等による不具合
(5) 建築躯体の変形等器具本体以外に起因する当該器具の不具合、塗装の色あせ等の経年変化またはご使用に伴う摩耗等により生じる外観上の現象
(6) 強い腐食性の空気環境に起因する不具合
(7) 犬、猫、ねずみ、昆虫等の動物の行為に起因する不具合
(8) 火災や地震、落雷、地震、噴火、洪水、津波等の天変地異または戦争、暴動等の破壊行為による不具合
(9) 電気、給水の供給トラブル等に起因する不具合
(10) 指定規格以外のガス、電気または熱媒等をご使用したことに起因する不具合
(11) 給水、給湯配管などの錆び等異物混入に起因する不具合
(12) 温泉水、井戸水等を給水したことに起因する不具合
(13) 本保証書を紛失された場合
5 無料修理やアフターサービス等についてご不明な場合はお買い上げの販売店または、もよりの東京ガスへお問い合わせ下さい。

保証履行者 東京ガス株式会社 〒105-8527 東京都港区海岸1丁目5番20号

■お買い上げ日および販売店名

お買い上げ日	平成　年　月　日		
販売店		扱者印	
住所			
電話番号			

■修理記録
この本体の修理記録は、本体のフロントカバーの裏に記録します。

■お客さまへ
1 この保証書をお受け取りになる時に販売年月日、販売店、扱者印が記入してあることを確認してください。
2 本証書は再発行いたしませんので紛失されないよう大切に保存してください。
3 無料修理期間経過後の故障修理等につきましては「アフターサービス」の項をご覧ください。
4 この保証書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありません。

◆この取扱説明書は再生紙を使用しています◆

取扱説明書 NR-AD824RFA-RA 1104931036340101

こんなことができます

お湯を出す		お湯の温度をお好みの温度に 設定して使用できます。（目安の温度：℃） 32 33 35 37 38 39 40 41 42 43 44 45 46 47 48 50 食器洗いなど／シャワー、給湯など／給湯など／(高温)を表示
おふろを自動で沸かす 残り湯を沸かし直す		ふろ自動 → 設定した温度・湯量で自動的にお湯はり → お湯がためたら 自動で追いだき保温 / お湯が減れば 自動で足し湯 自動保温、自動足し湯は沸き上がりから4時間以内 ※保温時間は変更できます
おふろの追いだきをする		追いだき → おふろのお湯の温度を上げることができます。
おふろのお湯を増やす <足し湯>		「たっぷり」を選択 → 設定 → おふろのお湯の量を増やすことができます。
おふろのお湯をぬるくする <さし水>		「ぬるく」を選択 → 設定 → おふろのお湯の温度を下げることができます。
おふろの沸き上がり時刻を予約する (台所リモコンがある場合)		「ふろ予約」を設定 → 設定 → 設定した温度・湯量で自動的にお湯はり → 設定した時刻に沸き上がり → お湯がためたら 自動で追いだき保温 / お湯が減れば 自動で足し湯 自動保温、自動足し湯は沸き上がりから4時間以内 ※保温時間は変更できます
暖房する 浴室を暖房する		浴室暖房がついている場合は、おふろの自動沸かし時にふろ自動スイッチを押すと、同時に浴室暖房を「入」にすることができます。 ※浴室暖房乾燥機がついている場合（浴室暖房乾燥機との組み合わせによってはできない場合があります）

もくじ

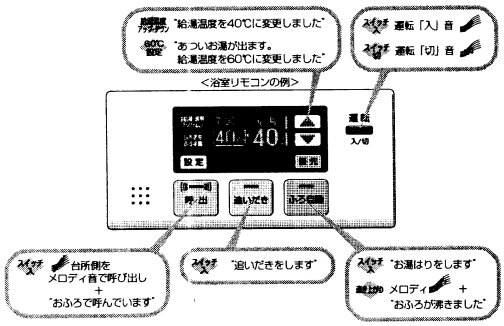
リモコンの特徴 …… 1
必ずお守りください(安全上の注意) …… 3
各部のなまえとはたらき(機器本体) …… 8
各部のなまえとはたらき(リモコン) …… 9
浴室リモコン NR-RB801A …… 9
台所リモコン NR-RK801A …… 11
初めてお使いになるときは …… 13
使いかた
時計を合わせる …… 14
お湯を出す/お湯の温度を調節する …… 15
おふろを自動で沸かす …… 17
残り湯を沸かし直す …… 20
ふろ温度を調節する …… 21
ふろ湯量を調節する …… 22
おふろの追いだきをする …… 23
おふろのお湯を増やす(足し湯(たっぷり)) …… 24
おふろのお湯をぬるくする(さし水(ぬるく)) …… 25
浴室から台所リモコンのチャイムを鳴らす …… 26
ふろ配管クリーンについて …… 26
おふろの沸き上がり時刻を予約する …… 27
暖房する …… 29
浴室暖房する …… 31
静音設定する …… 33
各設定を変更する/通話先を表示させる …… 35
(おふろの配管洗浄、リモコンの音量・音声ガイド・表示の調整、ふろ配管クリーン、登録の解除)

取扱説明書 NR-AD824RFA-RA 1104931036341301

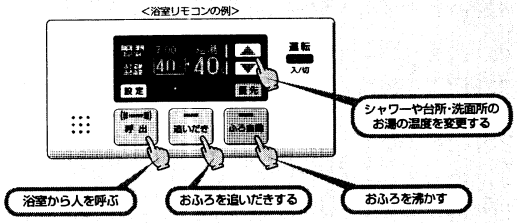
リモコンの特徴

リモコンが音声でお知らせします　<音声ガイド>

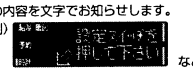
操作の内容を女性の声やメロディでお知らせします。
台所リモコン・浴室リモコンの両方がある場合には、片方のリモコンで温度設定を変更したことを、もう一方のリモコンでも声でお知らせします。
お年寄りやお子様にも、耳で聞いて確認できるわかりやすい設計です。
(音声ガイドをやめたり、音量を変更したりすることもできます。(☞P35,36))



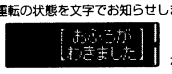
よく使う操作はワンタッチでOK



リモコン操作を文字でお知らせします　<文字ガイド>

操作の内容を文字でお知らせします。
例)


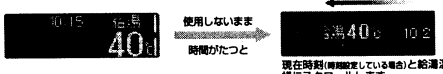
など…

また、運転の状態を文字でお知らせします。
例)


など…

リモコン画面の焼き付き防止　<スクロール表示>

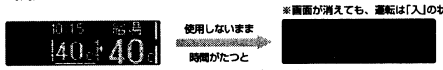
画面の焼き付き防止のため、機器を使用しないまま約10分(おふろの機能を使った場合、浴室リモコンでは約1時間)たつと画面の状態が変わります(スクロール表示)。



＊再使用したり、スイッチを押すと、スクロール表示を解除します。

リモコンの無駄な電力消費を防ぐ　<表示の節電>

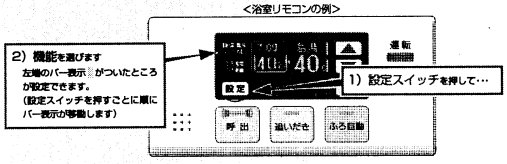
リモコンの無駄な電力消費を防ぐため、また画面の焼き付き防止のために<表示の節電>の設定ができます(☞P35,36)。機器を使用しないまま約10分(おふろの機能を使った場合、浴室リモコンでは約1時間)たつと、画面表示が消えて、運転ランプのみ点灯します。



＊再使用したり、スイッチを押すと、表示の節電を解除します。
＊給湯温度を60℃に設定している場合は、安全のため、表示の節電はしません。

細かい設定は「設定スイッチ」で

ふろ温度・ふろ湯量の設定や、おふろのお湯を増やすとき(足し湯)、おふろのお湯をぬるくするとき(さし水)、おふろの沸き上がり時刻を予約するときなどは、まず「設定スイッチ 設定 」でおこないたい操作を選び、それぞれを設定してください。(詳しくは本文の操作説明をお読みください)



必ずお守りください(安全上の注意)-1

お使いになる方や他の方への危害・財産への損害を未然に防止するために、つぎのような区分・表示をしています。
いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ずお守りいただき、内容をよく理解して正しくお使いください。

■危害・損害の程度による内容の区分

⚠危険	この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される内容です。
⚠警告	この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。
⚠注意	この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性および物的損害のみが発生する可能性が想定される内容です。
お願い	安全に快適に使用していただくために、理解していただきたい内容です。

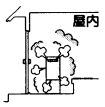
■注意・禁止内容の絵表示

高温注意	感電注意	必ずおこなう	アース必要
禁止	火気禁止	接触禁止	ぬれ手禁止

⚠危険

屋内に設置しない

一酸化炭素中毒の原因になります。



⚠警告

ガス漏れに気づいたときは、
1. すぐに使用をやめる
2. ガス栓を閉める
3. 販売店または、もよりの東京ガスに連絡する

ガス漏れ時は、絶対に
・火をつけない
・電気器具のスイッチの入・切をしない
・電源プラグの抜き差しをしない
・周辺の電話も使用しない

火や火花で引火し、火災の原因になります。

(つづく)

(つづき)

異常燃焼・異常臭気を感じたときや、地震・火災などの緊急時は、次の手順に従う
1. 給湯栓を閉める
2. 運転スイッチを「切」にする
3. ガス栓・給水元栓を閉める
4. 販売店または、もよりの東京ガスに連絡する

火災・感電・故障などの予防のため。

シャワー使用時は、手で湯温を確認してから使用する

入浴時も、浴そうの湯温を手で確認してから入浴する

やけど予防のため。

おふろ洗かし、沸かし直し、追いだき時は、循環アダプター付近があつくなるのでさわらない

やけど予防のため。

機器の設置・移動および付帯工事は、販売店に依頼する

安全に使用していただくため。

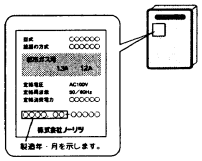
修理技術者以外は修理・分解・改造をしない

火災や故障の原因になります。

灯油、ガソリン、ベンジンなど、引火のおそれのある物を機器のまわりで使用しない

火災の原因になります。

必ず銘板に表示のガス・電源で使用する



表示以外のガス・電源で使用すると、異常燃焼し、火災や感電の原因になります。

【床暖房が設置されている場合】床暖房の上で長時間座ったり、寝そべったりしない

低温やけどの原因になります。

シャワー使用時は、使用者以外温度を変えない、運転「切」にしない

高温に変更されたときのやけど予防のため。また、低温に変更されたり運転「切」にされると、冷水になって使用者がびっくりする原因になります。

お湯の中にもぐったり、循環アダプターのフィルターをはずして使用しない

運転中に体の一部や髪の毛などが吸い込まれて、おぼれたり、けがをするおそれがあります。

子供を浴室内で遊ばせない 子供だけで入浴させない

思わぬ事故の原因になります。

スプレー缶を、機器本体や排気口のまわりに置かない、使用しない

熱でスプレー缶の圧力が上がり、爆発・火災の原因になります。

(つづく)

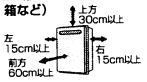
必ずお守りください(安全上の注意)-2

(つづき)

増改築などで屋内状態にしない(波板囲いなどをしない)

一酸化炭素中毒・火災の原因になります。

燃えやすい物とは離す(樹木、木材、箱など)



火災予防のため。

燃えやすい物をまわりに置かない(洗濯物、新聞紙、灯油など)

火災の原因になります。

⚠注意

必ずアースする
機器が故障した場合、感電の原因になります。

電源プラグはぬれた手でさわらない

感電の原因になります。

電源コード、電源プラグの破損・加工をしない
束ねたり、無理に曲げたり、引っ張ったり、物を乗せたり、衝撃を与えたりして無理な力を加えない。傷つけない。加工をしない。
感電、ショート、火災の原因になります。

使用中や使用後しばらくは、排気口付近に触れない

やけど予防のため。

電源プラグは、コードを持たずにプラグを持って抜く

コードを持って抜くと、コードが破損し、発熱、火災、感電の原因になります。

電源プラグは根元まで確実に差し込む

差し込みが不充分だと、感電や火災の原因になります。

電源プラグのほこりはときどき取る
ほこりがたまると、火災の原因になります。

太陽熱温水器とは絶対に接続しない
お湯の温度制御ができなくなり、やけどや機器の故障の原因になります。

(つづく)

(つづき)

給湯、シャワー、おふろを沸かす、暖房以外の用途には使用しない
思わぬ事故を予防するため。

お願い

機器や配管に長時間たまった水や、朝一番のお湯は飲まない、調理に使用しない
雑用水として使用してください。

浴そうの循環アダプターをタオルなどでふさがない穴に物を詰めない

おふろ沸かしができません。
機器の故障の原因になります。

業務用のような使いかたをしない
製品の寿命を短くします。
業務用のような使いかたをした場合の修理は、保証期間内でも有料になります。

水圧の低い地域では泡沫水栓を使用しない

給湯栓の先端に泡沫水栓が内蔵されているものは、ときどきフィルター(金網)を掃除する
わからない場合は、販売店または、もよりの東京ガスに確認してください。

水道法に定められた飲料水の水質基準に適合しない井戸水、または温泉水で使わない
水質によっては、機器を腐食させる原因になります。

排気ガスが直接建物の外壁や窓、アルミサッシ(網入りガラスなど)に当たらないように設置する(増改築時注意)
ガラスが割れたり変色する原因になります。

リモコンを分解しない
故障や、思わぬ事故の原因になります。

リモコンの掃除には、ベンジンや油脂系の洗剤を使用しない
変形する場合があります。

浴室リモコン・防水型増設リモコンに故意に水をかけない
防水型ですが、多量の水は故障の原因になります。

台所リモコン・増設リモコンに、水しぶきをかけない、蒸気をあてない
炊飯器、電気ポットなどに注意。
故障の原因になります。

硫黄、酸、アルカリを含んだ入浴剤・洗剤は使用しない
入浴剤や洗剤は、注意書きをよく読み、機器に影響のないものを使用する
入浴剤・洗剤は製品によっては機器の熱交換器が故障する原因になるものがあります。
入浴剤を使用して追いだきしたときに、異常音が出る場合はその入浴剤の使用をやめてください。

この機器の純正部品以外は使用しない
思わぬ事故の原因になります。

使用時の点火、使用後の消火を確認する
ガス事故防止のため。

(つづく)

必ずお守りください(安全上の注意)-3

(つづき)

浴そうのフィルターはこまめに掃除する (☞P41)
ポンプ故障の予防のため。

機器のまわりはきれいにしておく
まわりが雑草、木くず、箱などで雑然としていると、機器の内部にゴキブリが侵入したりクモの巣がはったりして、機器の損傷や火災の原因になることがあります。

浴そう、洗面台はこまめに掃除する
湯アカが残っていると、水中に含まれるわずかな銅イオンと、せっけんなどに含まれる脂肪酸とが反応して、青く変色することがあります。

停電後(または電源プラグを抜いたあと)は、設定した現在時刻を確認する
停電すると運転が停止し、また設定した現在時刻がリセットする場合があります。

運転スイッチ「切」時にはお湯側から水を出さない
お湯を出すときには、運転スイッチ「入」を確認してください。
運転スイッチ「切」時にお湯側から水を出すと熱交換器内に結露現象が発生し、不完全燃焼の原因になったり、電気部品の損傷の原因になります。
シングルレバー混合水栓の場合は、レバーを完全に水側にセットしてから水を出してください。

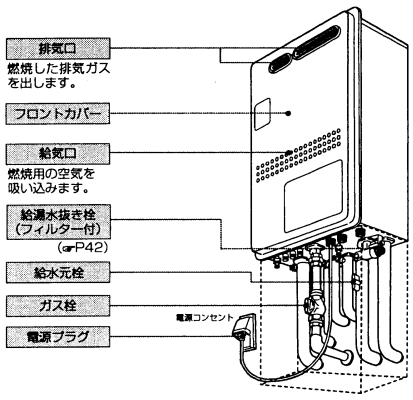
長期間使用しない場合、必要な処置をする (☞P39,40)
凍結および万が一のガス漏れを防止するため。

凍結による破損を予防する (☞P37~40)
水漏れや故障の原因になります。

積雪時には給気口、排気口の点検、除雪をする
雪により給気口、排気口がふさがれると不完全燃焼し、機器の故障の原因になることがあります。

各部のなまえとはたらき(機器本体)

【屋外設置形】
NR-AD824RFA-RA



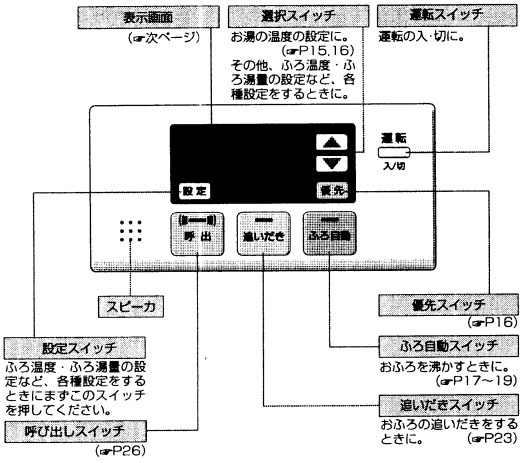
※上のイラストは施工例です。
配管の形状、給水元栓・ガス栓・電源コンセントの位置など実際と異なります。

取扱説明書
NR-AD824RFA-RA
1104931036 34
13 03 01

各部のなまえとはたらき(リモコン-1)

浴室リモコン(NR-RB801A)<別売品>

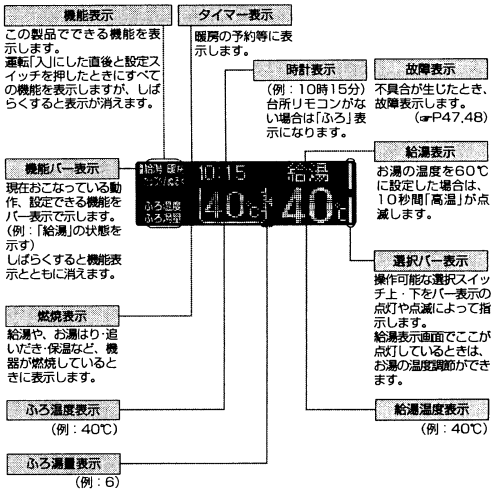
(浴室に取り付けます)



その他の別売品リモコンをお使いの場合は、それぞれの取扱説明書をごらんください。

表示画面

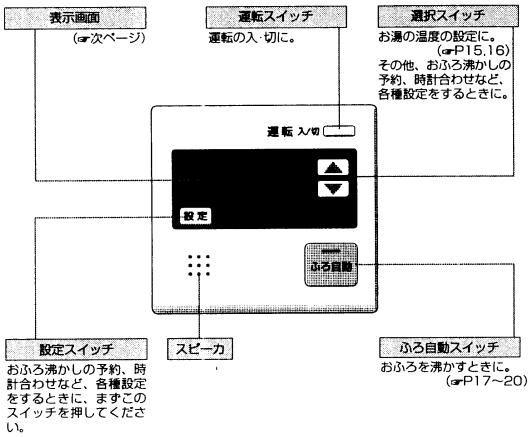
下記の表示画面は説明のため、基本的なもののみ表示したものです。
実際の運転のときは、運転の状態によって異なる表示をします。



各部のなまえとはたらき(リモコン-2)

台所リモコン(NR-RK801A)<別売品>

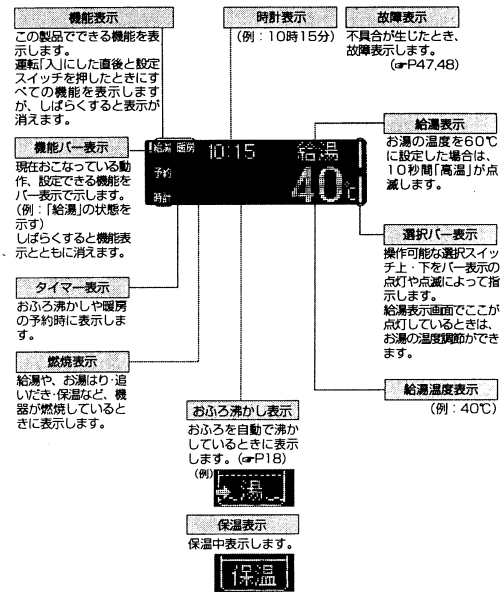
(台所などに取り付けます)



その他の別売品リモコンをお使いの場合は、それぞれの取扱説明書をごらんください。

表示画面

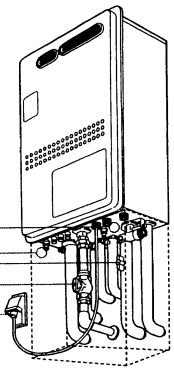
下記の表示画面は説明のため、基本的なもののみ表示したものです。
実際の運転のときは、運転の状態によって異なる表示をします。



初めてお使いになるときは

初めてお使いになるときは、次の準備と確認が必要です。

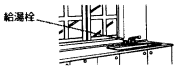
1〜7 の手順でおこなってください。



1 据置台の前面を開ける。
(化粧ネジ2ヶ所)

2 給水元栓を全開にする。

3 給湯栓を開け、水の出ることを確認し、再度閉める。

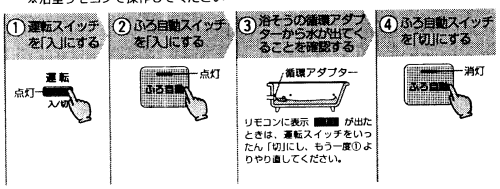


4 ガス栓を全開にする。

5 電源プラグを差し込む。
ぬれた手でさわらないで

6 据置台の前面を元どおり閉める。

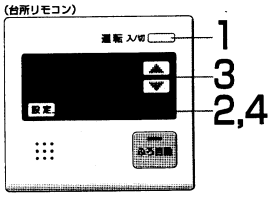
7 下記操作でポンプの呼び水をする。
※浴室リモコンで操作してください



使いかた

時計を合わせる
(台所リモコンがある場合)

(台所リモコン)



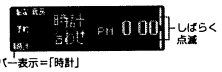
1 運転スイッチを「入」にする

運転 入/切 —点灯

2 設定スイッチを押して バー表示を「時計」の位置にする

設定

設定スイッチを押すごとに順にバー表示が移動します



バー表示=「時計」

3 選択スイッチで 現在時刻を設定する

▲ すすむ
▼ もどる

一度押すごとに1分ずつ、押し続けると10分ずつ変わります。

設定時刻

4 設定スイッチを押して 給湯表示画面に戻す

設定

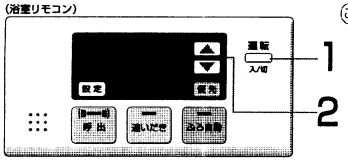
設定時刻

時計合わせをしていない場合、浴室リモコンでは時計表示のかわりに「ふろ」を表示します。

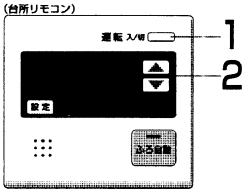
使いかた

お湯を出す/お湯の温度を調節する

(浴室リモコン)



(台所リモコン)

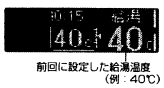


ここでは浴室リモコンでご説明します

<運転スイッチ「切」のとき>

1 運転スイッチを「入」にする

運転
点灯—入/切



前回に設定した給湯温度
(例:40℃)

⚠警告

高温注意

やけど予防のために。

- シャワーを使用するときは、いきなり体や顔にかけず、リモコンの給湯温度表示を確認し、手でお湯の温度を確認してから使用してください。
- 60℃に設定したときは、
  ・♻"あついお湯が出ます。給湯温度を60℃に変更しました"
  ・約10秒間高温表示が点滅後、点灯
  でお知らせします。
- 表示の温度をよく確かめてから使用してください。
  60℃の高温で使ったあと、あらためて使用するときは特に注意してください。
- シャワーなどお湯を使用中のとき、他の人はお湯の温度を変更しないでください。
- シャワーなどお湯を使用中のとき、他の人は(優先)を切り替えないでください。切り替えたほうの前回設定した温度に変わります。

約10秒間 点滅→点灯

<浴室リモコン表示画面>

♻:女性の声でお知らせ

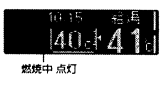
<一度設定すると記憶します>

2 選択スイッチで 給湯温度を調節する
(変更しないときは温度を確認する)

▲ あつくなる
▼ ぬるくなる

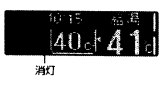
点灯確認
変更した給湯温度

3 給湯栓を開ける



燃焼中 点灯

4 使用後は 給湯栓を閉める



消灯

お湯の温度の目安

(℃:目安の温度ですので、季節や配管の長さなどの条件により、実際の温度とは異なります。)

32	35	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	50
食器洗いなど		シャワー、給湯など					給湯など						高温	

※初期設定(工場出荷時)=40℃

サーモ付混合水栓の場合は、リモコンのお湯の温度設定をご希望の温度より約10℃高く設定すると、ちょうどよくなります。

●低温(食器洗いなど)に設定したときは、水温が高い場合その温度にならないことがあります。(☞P43)

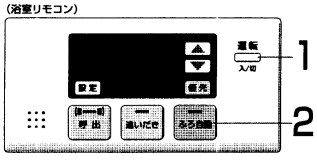
お湯の温度の調節ができない場合は、以下の操作をしてください —— 優先切替
(浴室リモコン・台所リモコンの両方がある場合)

※設定温度は例です。

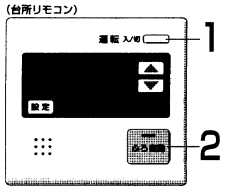
	温調調節できない状態	→ 温調調節するには(優先切替) →	温調調節できる状態
浴室リモコン	40 優先 押すと 点灯していない ♻"優先スイッチを押してください"	優先スイッチを「入」にする 点灯—優先	42 優先 点灯
台所リモコン	42 押すと 点灯していない ♻"浴室優先です"	運転スイッチを一度「切」にし、再度「入」にする 運転 入/切 消灯→点灯 ※ふろ運転中にこの操作をするとふろ運転が停止します。	40 点灯

使いかた
おふろを自動で沸かす-1

(浴室リモコン)



(台所リモコン)



ここでは浴室リモコンでご説明します

運転前の準備

1. 浴そうの排水栓を閉める。
2. 浴そうの循環アダプターに、フィルターが付いていることを確かめる。
3. 浴そうのふたをする。

⚠警告 やけど予防のために。

高温注意 お湯はり中に、台所やシャワーなどでお湯を使用すると、ふろ設定温度のお湯が出ます。
お湯はりが終わると給湯設定温度のお湯が出ますので、給湯を高温に設定しているときはご注意ください。

<台所リモコンのお湯はり中の波表示は進行状況を表します> (イラストは例です)

お湯はり(沸かし直し)が進むにつれ、次第に波表示が上がっていきます。
※実際の水位を表すものではありません。

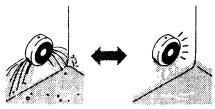
※沸かし直し時、残り湯の量によっては急に波表示が上がることがありますが、異常ではありません。

<運転スイッチ「切」のとき>

1 運転スイッチを「入」にする

ふろ温度・湯量の変更のしかた
21～22ページ参照

<故障ではありません>
*ふろ自動スイッチを押すと、しばらくは浴そうの循環アダプターからお湯が出たり止まったりします。残り湯の量を確認しているためで、故障ではありません。
*おふろの自動沸かしが完了しないうちにふろ自動スイッチを何度も「切」にしたり「入」にしたりするのを繰り返すと、お湯があふれることがあります。



(次ページへ)

2 ふろ自動スイッチを「入」にする

浴室暖房乾燥機がついている場合、ふろ自動スイッチを「入」にすると、まず浴室暖房設定画面になることがあります。(☞P31)

1)お湯はりを開始します。

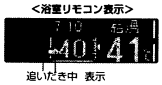
10秒後

<浴室リモコン表示> <台所リモコン表示>

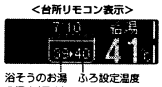
※しばらくすると波表示します (☞上記 台所リモコンの波表示の説明)

2)お湯はりがおわると、追いだきします。

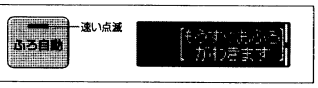
<浴室リモコン表示>



<台所リモコン表示>



※入浴できる状態に近づくと、ランプが速い点滅に変わります。



使いかた
おふろを自動で沸かす-2

ごきげんオート *おふろに入ると、体温でお湯の温度が少し下がります。そこで「ぬるいナ」と感じる前に自動的にあたためます。(沸き上がり以降)*

入浴したのをセンサーが検知します。 → 約30秒後に追いだきを開始して、ふろ設定温度まで追いだきします。

保温時間中、ごきげんオートがはたらきます。

沸き上がり後の自動追いだき保温・自動足し湯および、追いだき・足し湯終了後約2分間および、さし水終了後約15分間はたらきません。

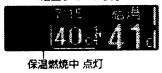
(前ページより)

沸き上がり

メロディでお知らせします。

約4時間、自動追いだき保温・自動足し湯を続けます。
※保温時間は変更できます。(☞P35,36)

<浴室リモコン表示>



<台所リモコン表示>

・途中でおふろ沸かしをやめたいとき
・沸き上がり後、自動追いだき保温・自動足し湯・ごきげんオートの必要がないとき

ふろ自動スイッチを「切」にする。(ランプ消灯)

沸き上がったあとで、ふろ自動スイッチを切り、排水栓を抜くと、自動的にふろ配管内の残り湯を排出します。
(☞P26「ふろ配管クリーンについて」)

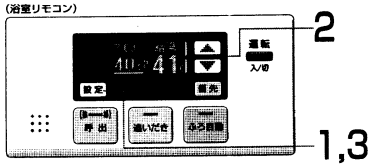
使いかた
残り湯を沸かし直す

残り湯の沸かし直しは、「おふろを自動で沸かす-1,2」(☞P17～19)と同じ操作でおこなってください。

沸かし直すときのお湯の量について

設定量の不足分を足し湯し、設定温度まで沸かし上げます。

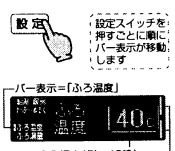
使いかた
ふろ温度を調節する



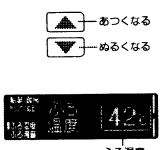
※遠転スイッチ「切」のときは必ず「入」にしてください。

<一度設定すると記憶します>

1 設定スイッチを押して バー表示を「ふろ温度」の位置にする



2 選択スイッチで ふろ温度を調節する



3 設定スイッチを押して 給湯表示画面に戻す

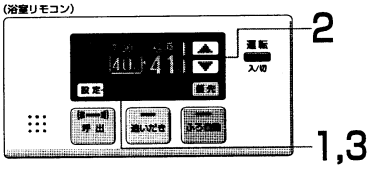
最後に設定スイッチを押し忘れた場合でも、2の段階で変更したままで確定されます。

ふろ温度の目安
(℃：目安の温度ですので、季節や配管の長さなどの条件により、実際の温度とは異なります。)

37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48
ぬるめ			ふつう				あつめ				

※初期設定(工場出荷時)＝40℃

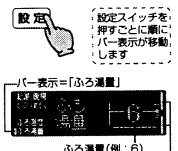
使いかた
ふろ湯量を調節する



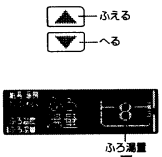
※遠転スイッチ「切」のときは必ず「入」にしてください。

<一度設定すると記憶します>

1 設定スイッチを押して バー表示を「ふろ湯量」の位置にする



2 選択スイッチで ふろ湯量を調節する



3 設定スイッチを押して 給湯表示画面に戻す

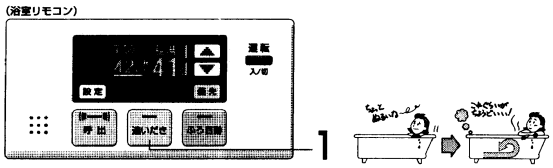
最後に設定スイッチを押し忘れた場合でも、2の段階で変更したままで確定されます。

ふろ湯量の目安 ※初期設定(工場出荷時)＝6

ふろ湯量表示	水位(目安)
11	48cm
10	46cm
9	44cm
8	42cm
7	40cm
6	38cm
5	36cm
4	34cm
3	32cm
2	30cm
1	28cm

浴そうの形状などにより、実際の水位と異なります。

使いかた
おふろの追いだきをする



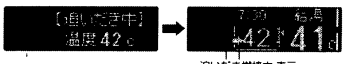
※遠転スイッチ「切」のときは必ず「入」にしてください。

運転前の準備

浴そうの循環アダプター上部より5cm以上お湯(または水)が入っているか確認する。

1 追いだきスイッチを「入」にする

お湯の温度がふろ設定温度より低い場合は設定温度まで、お湯の温度がふろ設定温度以上の場合はお湯の温度＋約1℃まで、追いだきします。(最高50℃まで)



追いだきが終わると、自動的に止まります。(ランプ消灯)

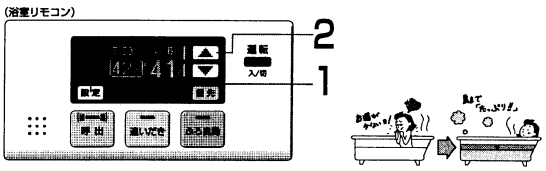
※追いだき中に温度を変更したい場合は、「ふろ温度を調節する」(☞P21)の手順で変更してください。

追いだき途中でやめたいとき

もう一度、追いだきスイッチを押す。(ランプ消灯)

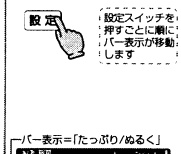
●「おふろの追いだき」は、おふろの自動湯かし中は使用できません。

使いかた
おふろのお湯を増やす(足し湯《たっぷり》)



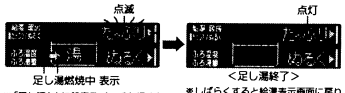
※遠転スイッチ「切」のときは必ず「入」にしてください。

1 設定スイッチを押して バー表示を「たっぷり/ぬるく」の位置にする



2 選択スイッチ(上)で「たっぷり」を選ぶ

お湯を約20ℓ足し湯し、自動的に止まります。
(お湯の温度はふろ設定温度です。)



※「足し湯」中に設定スイッチを押すと給湯表示画面に戻ります。

※しばらくすると給湯表示画面に戻ります。

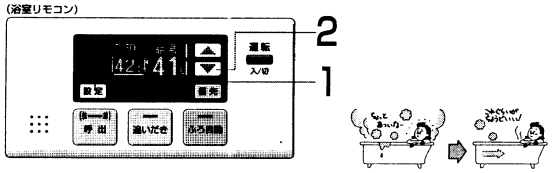
足し湯(たっぷり)を途中でやめたいとき

もう一度、選択スイッチ(上)を押す。(1の画面に戻る)

設定スイッチを押すと給湯表示画面に戻ります。

●「足し湯」中に台所やシャワーなどでお湯を使うと、ふろ設定温度のお湯が出ます。
●「足し湯」は、おふろの自動湯かし中は使用できません。

使いかた
おふろのお湯をぬるくする(さし水《ぬるく》)



※運転スイッチ「切」のときは必ず「入」にしてください。

1 設定スイッチを押してバー表示を「たっぷり/ぬるく」の位置にする

設定

設定スイッチを押すごとに順にバー表示が移動します

バー表示=「たっぷり/ぬるく」

しばらく点滅

2 選択スイッチ(下)で「ぬるく」を選ぶ

ふろ設定温度より約1℃下げるために必要な水がはいり、約3㍑のお湯がはいってから停止します。

点滅 → 点灯

さし水(「ぬるく」運転)中 表示

※燃焼表示がつくことがあります。
※「さし水」中に設定スイッチを押すと給湯表示画面に戻ります。

<さし水(ぬるく)終了>

*しばらくすると給湯表示画面に戻ります。

さし水(ぬるく)を途中でやめたいとき

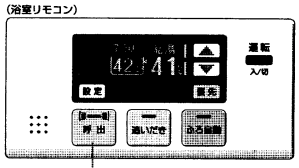
もう一度、選択スイッチ(下)を押す。(給湯表示画面に戻る)

※約3㍑のお湯を入れてから停止します。

設定スイッチを押すと給湯表示画面に戻ります。

●「さし水」は、お湯の使用中または「おふろの自動沸かし」のお湯はり中は使用できません。
●「さし水」中にお湯を使うと、「さし水」を中止します。
その場合、約20秒間<さし水(ぬるく)終了>の表示画面のままになっているため、給湯温度の確認ができません。給湯温度を高温に設定しているときは特に注意してください。
(給湯温度を確認したい場合は、設定スイッチを押すと給湯表示画面に戻ります)

使いかた
浴室から台所リモコンのチャイムを鳴らす
(台所リモコンがある場合)



浴室にいるときに、何か必要な物があったり気分が悪くなって人を呼びたいとき、呼び出しスイッチで知らせることができます。
(インターホンではないので会話はできません)

呼び出しスイッチを押す

呼出 点灯

【呼び出し中】

メロディで呼び出します。
押し続けると、手を離すまでメロディをくりかえします。

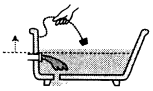
●呼び出しスイッチは運転スイッチの「入・切」に関係なく使用できます。

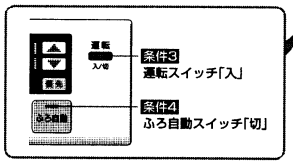
ふろ配管クリーンについて

次の条件がそろったときに排水すると、機器がふろ配管にお湯を約7㍑流して、循環アダプターからふろ配管内の残り湯を押し出します。

条件1 おふろの自動沸かしで沸き上がったあと

条件2 残り湯が循環アダプター上部より上にある

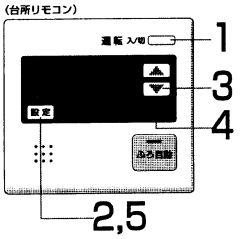




(ふろ配管クリーン中の表示例)

═ 次の場合は はたらきません ═
*ふろ配管クリーン「切」の場合(☞P36)

使いかた
おふろの沸き上がり時刻を予約する
(台所リモコンがある場合)



予約時刻(沸き上がり時刻)の約30分~60分前におふろ沸かしを開始するため、60分前までには予約してください。

運転前の準備

1. 浴そうの排水栓を閉める。
2. 浴そうの循環アダプターに、フィルターが付いていることを確かめる。
3. 浴そうのふたをする。
4. 沸き上がり時のふろ温度とふろ湯量を確認する。(設定スイッチで確認 ☞P21,22)
5. 現在時刻が正しいかどうか確認する。

<運転スイッチ「切」のとき>

1 運転スイッチを「入」にする

運転 入/切 点灯

2 設定スイッチを押してバー表示を「予約」の位置にする

設定

設定スイッチを押すごとに順にバー表示が移動します

バー表示=「予約」

しばらく点滅

3 選択スイッチ(下)を押す

点灯 設定時刻 しばらく点滅

以前に4で予約時刻を設定していると、その時刻を表示します。

<一度設定すると記憶します>

4 選択スイッチで沸き上がり時刻を設定する
(時刻変更しない場合5へ)

すすむ
もどる

一度押すごとに10分ずつ、押し続けると1時間ずつ変わります。

5 設定スイッチを押して給湯表示画面に戻す

設定

最後に設定スイッチを押し忘れた場合でも、4の段階で変更したままで確定されます。

おふろ沸かしが始まる前に
・予約時刻を確認したい → とき(下記①のみ)
・予約をやめたいとき → (下記①~②)
・予約時刻を変更したい → とき(下記①~③)

①設定スイッチを押し、「予約」にバー表示を移動させる。

バー表示

②選択スイッチ(下)で解除する。

③上記1~4の手順で、設定しなおす。

おふろ沸かし開始

予約した時刻におふろが沸き上がるように、約30~60分前に自動運転を開始します。

ふろ自動 点滅

お湯はり中、追いだき中 表示

※予約でおふろの自動沸かしをしている場合、波表示はしません。

おふろ沸かしが始まったあとでおふろ沸かしをやめたいとき

ふろ自動スイッチを押す。(ランプ消灯)

ふろ自動 消灯

沸き上がり

メロディでお知らせします。

ふろ自動 点灯

おふろが沸きました

約4時間、自動追いだき保温・自動足し湯を続けます。
※保温時間は変更できます。(☞P35,36)

保温 41℃

保温燃焼中 点灯

⚠警告

やけど予防のために。
高温注意

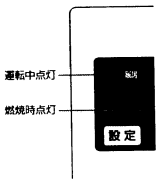
お湯はり中に、台所やシャワーなどでお湯を使用すると、ふろ設定温度のお湯が出ます。
お湯はりが終わると給湯設定温度のお湯が出ますので、給湯を高温に設定しているときはご注意ください。

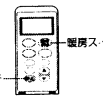
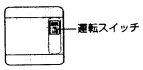
●運転スイッチ「切」にしても予約運転します。
●前日などの残り湯(水)があるとき、または、予約したおふろ沸かし中に給湯を使用すると、沸き上がり時刻が遅くなる場合があります。

使いかた
暖房する

暖房する部屋の 放熱器の運転スイッチを「入」にする

機器が運転します。



<ホットドライUの場合>	<床暖房リモコンの場合>
(ホットドライUの取扱説明書もご覧ください) <浴室用ホットドライUのリモコンの例>  1. 暖房スイッチを押して運転する 2. 使い終わったら停止スイッチを押して運転を停止する	(床暖房リモコンの取扱説明書もご覧ください)  1. 運転スイッチを押し、お好みの温度に調整する 2. 使い終わったら運転スイッチを押して運転を停止する

暖房を切るときは

放熱器の運転スイッチを「切」にする。

⚠注意

- 床暖房の上に電気カーペットを敷かないでください。床材の割れ、そり、隙間の原因となります。
- 床暖房の上に鋭利なものを落としたり、刺したりしないでください。温水パイプが破損します。
- ホットドライUの温風口にさわらないでください。やけどの危険性があります。
- 床暖房の上で高い温度に設定したまま、長時間座ったり寝そべったりしないでください。低温やけどを起こす原因になります。
  特に次のような方が使用する場合は、まわりの人が注意してあげることが必要です。
  ・乳幼児、お年寄り、病人など自分の意志で体を動かせない方
  ・疲労の激しいときや深酒をしたとき　・皮膚の弱い方

- 台所リモコンの運転スイッチの「入・切」に関係なく暖房運転できます。
- 放熱器の運転方法・温度調節の方法については、放熱器側の取扱説明書にしたがってください。
- 暖房水は自動的に補給されますので、給水元栓は開いたままにしておいてください。

使いかた
浴室暖房する

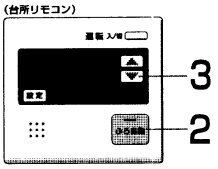
浴室暖房との組み合わせによっては できない場合があります。

おふろの自動沸かし時に同時に浴室暖房する場合

浴室暖房がついている場合、おふろの自動沸かし時にふろ自動スイッチを押すと、同時に浴室暖房を「入」にすることができます。

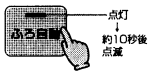
ここでは台所リモコンでご説明します

(台所リモコン)



P17～18「おふろを自動で沸かす」操作2から説明します。
(浴室リモコンも同様です)

2 ふろ自動スイッチを「入」にする



おふろの自動沸かしの画面になる前に、浴室暖房設定画面になります。

3 選択スイッチ(下)を 押す

おふろの自動沸かしの画面に戻り(ふろ温度・ふろ湯量が交互に10秒間点滅)、お湯はりと浴室暖房(強運転)を開始します。

P18 操作2の続きへ
おふろの自動沸かしを続けます
※浴室リモコンと台所リモコンの表示は少し違います。

3の操作をせずに20秒待てば、自動沸かしの画面に戻り、浴室暖房をせずにおふろの自動沸かしを続けます。

途中で浴室暖房をやめたいとき

1)設定スイッチを押して バー表示を「暖房」にする。

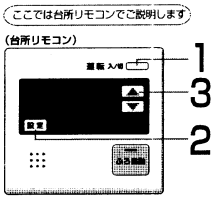
2)選択スイッチ(上)で、浴室暖房「切」にする。

暖房は、強運転で最後に設定した設定(温度・風向・設定時間など)で運転開始し、終了します。

浴室暖房のみ する場合

ここでは台所リモコンでご説明します

(台所リモコン)



<運転スイッチ「切」のとき>

1 運転スイッチを「入」にする

2 設定スイッチを押してバー表示を「暖房」の位置にし、浴室暖房設定画面にする

バー表示=「暖房」

3 選択スイッチ(上)で 浴室暖房「入」にする

暖房強運転になります。

暖房中
点滅

燃焼時 表示

途中で浴室暖房をやめたいとき

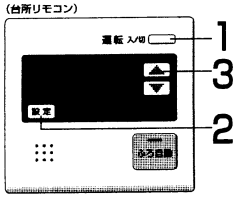
1)設定スイッチを押して バー表示を「暖房」にする。

2)選択スイッチ(上)で、浴室暖房「切」にする。

暖房は、強運転で最後に設定した設定(温度・風向・設定時間など)で運転開始し、終了します。

- 暖房水は自動的に補給されますので、給水元栓は開いたままにしておいてください。
- 脱衣室用ホットドライUがある場合は、脱衣室用ホットドライUも運転します。
- 浴室用ホットドライU・脱衣室用ホットドライUの運転方法は、各ホットドライ側の取扱説明書にしたがってください。
- 浴室用ホットドライU・脱衣室用ホットドライUをそれぞれ個別に入切する場合はそれぞれのリモコンで操作してください。
- 浴室または脱衣室ホットドライUの片側が運転していれば、浴室リモコン・台所リモコンでは浴室暖房は入状態になっています。再度運転を停止しているほうを浴室リモコン・台所リモコンで運転させたい場合は、一度切状態にして再度入状態にしてください。

静音設定する



夜など、暖房開始時の運転音が気になるときに、静音設定してください。

静音設定のはたらき▶▶▶

通常、暖房開始時は最大能力運転となりますが、静音設定することで暖房能力を低下させ、運転音を下げることができます。

<運転スイッチ「切」のとき>

1 運転スイッチを「入」にする

運転 入/切 ― 点灯

2 設定スイッチを押して、バー表示を「暖房」の位置にする

設定

設定スイッチを押すごとに順にバー表示が移動します

※放熱器の条件によって、設定スイッチを押したあとに出る表示が異なります。

この表示が出た場合は 次へ進んでください

※「入/切」表示は前回設定したほうが点滅します(工場出荷時=「切」)

バー表示「暖房」 → 4へ

バー表示「暖房」 → 3へ

3 選択スイッチ(▽)で「静音」を選ぶ

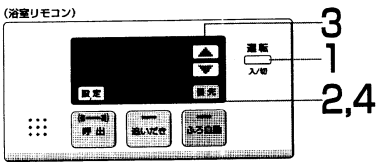
4 選択スイッチ(△)で静音設定「入」にする

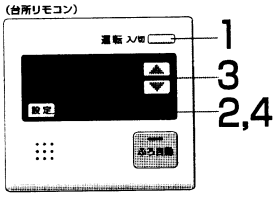
暖房時の運転音を下げて暖房の運転をします。
(このとき暖房能力は少し低下します。)

静音設定をやめたいとき

同じ手順で静音設定「切」にしてください。

各設定を変更する(おふろの保温時間、リモコンの音量・音声ガイド・表示の節電、ふろ配管クリーン、機器の水抜き)/連絡先を表示させる





(1)次のような設定の変更ができます	
おふろの保温時間	浴室リモコン・台所リモコンのどちらでも設定できます
リモコンの音量	それぞれのリモコンで設定してください
リモコンの音声ガイド	
リモコンの表示の節電	
ふろ配管クリーン	浴室リモコン・台所リモコンのどちらでも設定できます
機器の水抜き	
(2)リモコンに連絡先(電話番号)を表示できます	

1 運転「切」にする

運転「切」の状態でのみ、各設定の変更ができます。

浴室リモコン 運転 入/切 消灯

台所リモコン 運転 入/切 消灯

2 設定スイッチで変更したい設定を選ぶ

設定

押すごとにそれぞれの設定に切り替わります。

☞次ページ 2

3 選択スイッチで変更する

△ふえる(あり/する)
▽へる(なし/しない)

それぞれの変更をします。

☞次ページ 3

4 設定が完了すれば設定スイッチを押す

設定

続けて他の設定を変更する場合は、再度2〜4の手順で変更してください。

そのまま機器を使用する場合は、運転スイッチを押して「入」にしてください。

使用しない場合は、そのまま約20秒放置しておくと運転「切」の状態に戻ります。

□=初期設定(工場出荷時)

2 設定スイッチで選ぶ(押すごとに切り替わります)	3 選択スイッチで変更する
ふろ 保温時間	(単位:時間) 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 (0=保温なし)
音量	なし / 小 / 中 / 大 ※「なし」の設定でも「呼び出し音」(☞P26)は鳴ります。
音声ガイド	あり: 操作音と声でお知らせします / なし: 操作音のみでお知らせします ※操作音と声の両方とも鳴らさないようにするには、音量を「なし」に設定してください。(音量「なし」の設定でも「呼び出し音」(☞P26)は鳴ります。)
表示の節電	する: 無駄な電力消費を防ぐため、また画面の焼付防止のため、機器を使用しないまま約10分(浴室リモコンはおふろの機能を使った場合約1時間)たつと画面表示が消えます。(運転ランプのみ点灯)(☞P2) ※給湯温度を60℃に設定している場合は、安全のため、画面表示は消えません。 / しない: 運転「入」の状態ならば、画面表示は消えませんが、画面の焼付防止のため、機器を使用しないまま約10分(浴室リモコンはおふろの機能を使った場合約1時間)たつと画面の状態が変わります。(スクロール表示☞P2)
ふろ配管クリーン	する: おふろを沸かして入浴が終わったあとなど、おふろのお湯(水)を排水すると、機器がふろ配管にお湯を約7ℓ流して、循環アダプターからふろ配管内の残り湯を押し出します。(☞P26) / しない: ふろ配管クリーンをしません。
機器の水抜き	機器の水抜きをするときに「する」を選択してください。(☞P39)
連絡先電話番号表示	故障のときなど、サービスを依頼される場合に、この方法でご覧ください。 ※連絡先電話番号が入力されていない場合があります。その場合はこの画面にはなりません。

凍結による破損を予防する-1

お願い

＊暖かい地域でも、機器や配管内の水が凍結して破損事故が起こることがあります。
＊凍結により機器が破損したときの修理は、保証期間内でも有料修理になりますので、以下をお読みいただき、必ず必要な処置をしてください。

機器内は凍結予防ヒーターで自動的に凍結予防します

■電源プラグを抜くと作動しないため、電源プラグは抜かない。
（運転スイッチ「入・切」に関係なく作動します。）

＊給水・給湯配管や、給水元栓およびふろ配管などの凍結は予防できません。必ず保温材または電気ヒータを巻くなどの地域に応じた処置をしてください。（わからないときは、販売店に確認してください。）
＊水がないとポンプが空運転し、機器から大きな音が発生する場合があります。

■ふろ配管を凍結予防するためには、浴そうの水を循環アダプター上部より5cm以上ある状態にする。

ポンプが自動的に浴そうの水を循環させて、凍結を予防します。

■暖房回路を凍結予防するためには、ガス栓を開いたままにしておく。

＊自動的に暖房運転（燃焼）して暖房回路の水をあたため、凍結を予防します。
＊不凍液を使用している場合もあります。（機器フロントカバー下部にラベルが貼ってある場合は不凍液を使用しています）

■冷え込みが厳しいとき（注）は、さらに以下の処置をする。

機器だけでなく、給水・給湯配管、給水元栓なども同時に凍結予防できます。

1. 運転スイッチを「切」にする。
2. おふろの給湯栓を開いて、少量の水（1分間に約400cc･･･太さ約4mm）を流したままにしておく。
   ※サーモ付混合水栓やシングルレバー混合水栓の場合は、最高温度の位置に設定してください。
3. 流量が不安定になることがあるので、約30分後に再度流れる量を確認する。
   ※結露現象予防として、運転スイッチ「切」の状態で給湯栓から水を出さないようにお願いしていますが（☞P7）、凍結予防の処置の場合は問題ありません。

（注）外気温が極端に低くなる日（-15℃以下）や、それ以上の気温でも風のある日

＊サーモ付混合水栓やシングルレバー混合水栓の場合は、再使用時の温度設定にご注意ください。やけど予防のため。
＊この処置をしても凍結するおそれのある場合には、次ページの要領で水抜きをおこなってください。

凍結して水が出ないとき

1. ガス栓・給水元栓を閉める。
2. リモコンの運転スイッチを切り、給湯栓を開ける。
3. ときどき給水元栓を開け、水が出ることを確認する。
4. 水が出るようになっても、機器や配管から水漏れがないかよく確認の上使用してください。
   ※この処置でガス栓を閉めても、ポンプの循環で暖房回路の凍結予防は保たれます。

凍結した場合は、そのままでは絶対に使用しないでください。（暖房運転もしないでください）
機器の故障の原因となります。

凍結による破損を予防する-2

長期間使用しないときは、水抜きをしてください

⚠注意　高温注意　お湯の使用後は、機器内のお湯が高温になっていますので、機器が冷えてからおこなってください。やけど予防のため。

・右ページイラストを参照してください。
・水抜き栓などからお湯または水が約850cc出ますので、機器の下に容器などを置いて排水を受けてください。

ガス栓・給水元栓閉止

1 ガス栓を閉める。
2 給水元栓を閉める。

水抜き

3 浴そう内の水を完全に排水する。
4 1）リモコンの運転スイッチを「切」にする。
2）P35～36「各設定を変更する」の要領で設定スイッチを押していき、「機器の水抜き」を選択して、選択スイッチ（上）で「する」を選択する。
（リモコンに［水抜き中］の表示が出ます）
3）浴そうの循環アダプターから排水することを確認する。（注）
※約2分経過するとリモコンのお知らせ音（ピピッ音）が鳴ります。
※運転スイッチを「入」にすると水抜きを中止します。
※水抜きの途中で電源コンセントを抜かないでください。

5 すべての給湯栓を全開にする。
6 1）給湯水抜き栓（フィルター付）を左に回して開け、外す。（排水します）
2）エアーチャージ栓を左に回して開ける。（2回転以上）
7 機器フロントカバー下部にあるラベルで、不凍液が入っているかどうか確認する。

<不凍液が入っている場合>･･･以下の8の操作は必要ありません。9の操作で水抜きをしてください。
<不凍液が入っていない場合>･･･以下の8,9の操作で水抜きしてください。ただし、放熱器や暖房配管の凍結予防はできません。

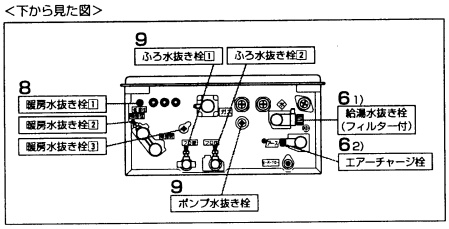
8 暖房水抜き栓1 2 3を左に回して開ける。（2回転以上）
9 4-2）の操作から2分以上経過したあと、ふろ水抜き栓1 2、ポンプ水抜き栓を左に回して開け、排水し、約3分そのままにする。

電源プラグ抜き

10 電源プラグを抜く。 **ぬれた手でさわらないで**
11 すべて排水されたことを確認したあと、すべての水抜き栓・エアーチャージ栓、すべての給湯栓を閉める。

（注）ふろ側の水抜きをおこなったあとは、浴そうに水を流し込まないでください。

<下から見た図>



水抜き後の再使用のとき

1. 据置台の前面を開ける。（化粧ネジ2ヶ所）
2. すべての水抜き栓・エアーチャージ栓・給湯栓が閉まっていることを確認する。
3. 給水元栓を開ける。
4. すべての給湯栓を開け、水が出ることを確認してから閉め、機器や配管から水漏れがないかよく確認する。
5. ガス栓を開け、電源プラグをコンセントに差し込む。
6. 据置台の前面を元どおり閉める。
7. ポンプの呼び水をする。（☞P13）

※通水後初めての暖房・ふろ使用で、リモコンに故障表示（543）（173）が出る場合
放熱器側の運転とリモコンの運転スイッチをいったん「切」にし、機器の給水元栓が開いていること・すべての暖房水抜き栓が閉まっていることを確認し、電源プラグを抜き、再度電源プラグを差し込んで再使用してください。

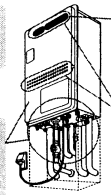
日常の点検・お手入れのしかた

⚠注意 高温注意 点検・お手入れは、運転「切」にしておこなってください。
お湯の使用後は、機器内のお湯が高温になっていますので、機器が冷えてからおこなってください。
やけど予防のため。

点　検(月1回程度)

チェック 機器や排気口のまわりに洗濯物・新聞紙・木材・灯油・スプレー缶など、燃えやすいものを置いていないか？
➡ 燃えやすいものを置かない。(☞P5)

チェック ＊機器の外観に異常な変色や傷はないか？
＊運転中に機器から異常音が聞こえないか？
＊機器・配管から水漏れはないか？
➡ 現象があった場合は、販売店または、もよりの東京ガスへご連絡ください。



チェック 排気口にススがついていないか？
➡ ついていたら、販売店または、もよりの東京ガスへご連絡ください。

チェック 排気口・給気口がほこりなどでふさがっていないか？
➡ ふさがっている場合は、掃除する。

お手入れ(こまめに掃除)

循環アダプターのフィルター

フィルターが詰まると、お湯の温度がご希望の温度にならないおそれがありますので、以下の方法で必ずこまめに掃除してください。

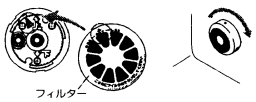
※運転「切」にしてからおこなってください。
※フィルターは必ず正常に取り付けて使用してください。外したままや、正常に取り付けられていない状態で使用すると、機器が故障することがあります。

1 浴そうの循環アダプターのフィルターを左にまわしてはずし、掃除する

①左にまわしてはずし、 ②歯ブラシなどで水洗いする

2 元どおりに取り付ける

①△同士を合わせてはめ込み、 ②右に止まるまで回して固定する。



お手入れ(月1回程度)

機器本体

機器本体の外装の汚れは、ぬれた布で落したあと充分水気をふきとってください。
特に汚れのひどいときには、中性洗剤を使用してください。

リモコン

リモコンの表面が汚れたときは、湿った布でふいてください。

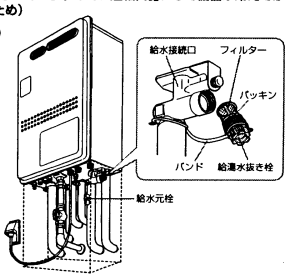
●リモコンの掃除にはベンジンや油脂系の洗剤を使用しないでください。
変形する場合があります。
●浴室リモコン・防水型増設リモコンは防水タイプですが、故意に水をかけないでください。
(台所リモコン・増設リモコンは防水タイプではありません。)

給湯水抜き栓(フィルター付)

給湯水抜き栓のフィルターにゴミ等が詰まると、お湯の出が悪くなったりお湯にならない場合がありますので、以下の方法で掃除をしてください。

※お湯の使用後は、機器内のお湯が高温になっていますので、運転「切」にして機器が冷えてからおこなってください。(やけど予防のため)

1. 据置台の前面を開ける。(化粧ネジ2ヶ所)
2. 給水元栓を閉める。
3. すべての給湯栓を閉める。
4. 給湯水抜き栓を外す。(※1)
5. 配管とつながっているバンドから外す。
6. フィルター部分を歯ブラシなどで水洗いする。(※2)
7. 元どおりに給湯水抜き栓を取り付ける。
8. すべての給湯栓を閉める。
9. 給水元栓を開け、給湯水抜き栓の周囲に水漏れがないことを確認する。
10. 据置台の前面を元どおり閉める。



(※1)このとき水(湯)が出るので注意してください。
(※2)水抜き栓からフィルターが外れた場合は、水抜き栓とフィルターの間のパッキンをなくさないように注意してください。

<定期点検のすすめ(有料)>
ご使用上支障がない場合でも、不慮の事故を防ぎ、安心してより長くご使用いただくために、年一回程度の定期点検をおすすめします。販売店にご相談ください。

故障・異常かな？と思ったら-1

「温度」に関すること

給湯栓を開いてもお湯が出てこない	＊ガス栓・給水元栓が全開になっていますか？ ＊断水していませんか？ ＊給湯栓は充分開いていますか？ ＊ガスメータ(マイコンメータ)がガスをしゃ断していませんか？ ＊給湯水抜き栓のフィルターにゴミなどが詰まっていませんか？(☞P42) ＊凍結していませんか？ ＊運転スイッチは「切」になっていませんか？
給湯栓を開いてもすぐお湯にならない	＊機器から給湯栓まで距離があるので、お湯が出てくるまで少し時間がかかります。
低温のお湯が出ない	＊ガス栓・給水元栓が全開になっていますか？ ＊給湯温度設定は適切ですか？(☞P15,16) ＊水温が高いときに、低温のお湯を少量出そうとすると、お湯の温度が高くなります。 給湯栓をもっと開いてお湯の量を多くすれば、お湯の温度は安定します。
高温のお湯が出ない	＊ガス栓・給水元栓が全開になっていますか？ ＊給湯温度設定は適切ですか？(☞P15,16) ＊お湯はりまたは足し湯中に台所などでお湯を使用すると、ふろ設定温度のお湯が出ます。お湯はりまたは足し湯が終わっても、お湯の使用をいったんやめるまでは、高温のお湯は出ません。(給湯温度設定が高温のときのやけど予防のため) ※リモコンの表示はそのままです。 <例：給湯温度の設定60℃→お湯の温度40℃>
給湯栓を絞ると水になった	＊給湯栓から流れるお湯の量が1分間に約3.5ℓ以下になったとき消火します。 給湯栓をもっと開いてお湯の量を多くすれば、お湯の温度は安定します。
給湯温度の調節ができない	＊台所リモコン・浴室リモコンの両方がある場合、操作しているリモコンの優先ランプは点灯していますか？(☞P16)
おふろのお湯がぬるい おふろのお湯があつい	＊ふろ温度設定は適切ですか？(☞P21) ＊浴そうの循環アダプターのフィルターにゴミや毛髪が詰まっていませんか？(☞P41)
暖房運転中、放熱器が止まったり温度が下がったりする	＊追いだき中や終了後しばらくの間は、暖房能力が低下することがあります。 放熱器の運転動作については、それぞれの取扱説明書をご覧ください。

「湯量」に関すること

給湯栓から出るお湯の量が変化する	＊お湯を使用中、他の場所でお湯を使用したり、おふろの自動湯かしをすると、お湯の量が減る場合があり、水道の圧力や配管条件によっては、極端にお湯の量が減ったり、いったん止まる場合がありますが、しばらくすると安定します。 ＊お湯の温度を安定させるため、お湯の出始めは少なく出し、安定するとお湯をたくさん出すように機器側で制御します。 ＊給湯栓の種類によっては、初め多く出てその後安定するなど、出湯量が変化するものがあります。
おふろの自動湯かしで、設定した湯量にならない	＊浴そうの循環アダプターのフィルターにゴミや毛髪が詰まっていませんか？(☞P41) ＊ふろ湯量設定は適切ですか？(☞P22) ＊おふろの自動湯かしが完了しないうちにふろ自動スイッチを何度も「切」にしたり「入」にしたりするのを繰り返すと、お湯があふれることがあります。 ＊それでも改善しない場合は、以下の要領で、おふろの自動湯かしの試運転をしてください。 1)浴そうが空の状態で排水栓を閉じる。 2)運転スイッチ「入」にし、ふろ湯量を設定しなおす。 3)運転スイッチ「切」にし、設定スイッチ[設定]とふろ自動スイッチを同時に2秒間押す。 (このとき「ふろ保温時間変更画面」が出ることがありますが、異常ではありません。おふろ沸かし画面になり、おふろ沸かしをします。このおふろ沸かしは通常より時間がかかります) 4)設定したふろ湯量にほぼなっていることを確認する。 ＊この操作をしても改善されないときは、もよりの東京ガスにご連絡ください。

「リモコン」に関すること

運転ランプが点灯しない	＊停電していませんか？ ＊電源プラグが差し込まれていますか？
リモコンの時計表示が「0：00」になっている	＊停電後、再通電すると時計表示が「0：00」になることがありますので、設定しなおしてください。(☞P14)
リモコンの画面表示がいつのまにか流れるように動いている	＊機器を使用しないまま約10分たつと、画面の焼付防止のため、画面の状態が変わります。(スクロール表示)(☞P2,36) 再使用したり、スイッチを押すと、スクロール表示を解除します。

(つづく)

故障・異常かな？と思ったら-2

（つづき）

リモコンの画面表示が いつのまにか消えている	＊表示の節電を「する」に設定した場合、機器を使用しないまま約10分たつと画面表示が消えます。(☞P2.36) 再使用したり、スイッチを押すと、表示の節電を解除します。
スイッチを押しても そのスイッチの動作をしない (例)運転スイッチを押して「切」にしたはずなのに 切れていない など…	<呼び出し・追いだき・ふろ自動スイッチ以外のスイッチの場合> ＊表示の節電中やスクロール表示中にスイッチを1回押すと、その状態を解除し、もう1回押すとそのスイッチの機能がはたらきます。 運転「入・切」は、ランプの点灯・消灯で確認してください。
表示の節電の状態にならない	＊表示の節電「する」の設定になっていますか？(☞P36) ＊給湯温度を60℃に設定している場合は、表示の節電にはなりません。
おふろの自動沸かし時、台所リモコンに波表示しない	＊おふろの自動沸かしの予約中(タイマー表示⏲を表示中)は、波表示しません。

「音」に関すること

浴そうの循環アダプターから「ポコ、ポコ」と空気の出る音がすることがある	＊おふろの配管などにたまった空気が出る音で、異常ではありません。
運転を停止しても しばらくの間ファンの回転音(ブーン)がする	＊再使用時の点火をより早くするため、また、再使用時にお湯の温度を早く安定させるために機器が作動している音です。
運転スイッチを「入・切」したり、給湯栓を開閉したり、機器の使用後しばらくすると、モータが動く音(クックッ、クー)がする	
ポンプの回転音(ウーン)がする	＊追いだき終了後、お湯をまぜるためにポンプがしばらく回ることがあります。 ＊おふろの自動沸かしの予約時、予約時刻の1～2時間前に、残り湯チェックのためポンプの運転をします。 ＊気温が下がると、凍結予防のため、ポンプで浴そうの水を循環させます。 ＊長期間使用しない場合に、床暖房回路内にたまった空気を抜き、次回使用するときに支障がないようにするためにポンプが自動的に回ります。(1ヶ月ごと)

その他

使用中に消火した	＊ガス栓・給水元栓が全開になっていますか？ ＊断水していませんか？ ＊給湯栓は充分開いていますか？ ＊ガスメータ(マイコンメータ)がガスをしゃ断していませんか？
寒い日に排気口から湯気が出る	＊冬に吐く息が白く見えるように排気ガス中の水蒸気が白く見えます。
お湯が白く濁って見える	＊これは水中に溶け込んでいた空気が熱せられて、大気圧まで急速に減圧されることで細かい泡となって出てくる現象です。 ビール・サイダーなどの泡と似た現象であり汚濁とは違い、無害です。
おふろの自動沸かしを始めるとにごったお湯が出る	<ふろ配管クリーンの設定(☞P26)をしていない場合> ＊ふろ自動沸かしを始めた直後、配管中の残り湯が若干混入します。 特に入浴剤(にごり系)をご使用の場合には目立つ場合があります。
追いだきができない 追いだき中に消火した	＊浴そうの循環アダプター上部より5cm以上お湯または、水が入っていますか？ ＊ポンプの呼び水をしましたか？(☞P13) ＊浴そうの循環アダプターのフィルターにゴミや毛髪が詰まっていませんか？(☞P41)
エアーチャージ栓(過圧防止安全装置)から、お湯(水)が少しの間出ることがある	＊機器内に高い圧力が生じたとき、過圧防止安全装置のはたらきにより、エアーチャージ栓から水滴が落ちることがあります。
浴そうの循環アダプターからお湯が出たり止まったりする	＊ふろ自動スイッチを押すと、残り湯の量を確認するためにポンプが動き、しばらくは循環アダプターからお湯が出たり止まったりします。
おふろを使用していないのに浴そうの循環アダプターからお湯が出る	＊浴そうのお湯(水)を排水したあと、ふろ配管クリーンがはたらくと、循環アダプターからお湯が出ます。
ふろ配管クリーンがはたらかない	＊次の場合は配管クリーンははたらきません。 ・運転スイッチ「切」の場合 ・ふろ自動スイッチ「入」の場合 ・残り湯が循環アダプター上部より下にある場合 ・追いだき(☞P23)のみでおふろを沸かし上げたあと ・洗濯注湯ユニット(別売品)の使用中または使用したあと (注湯のモードによっては、はたらく場合があります) ・ふろ配管クリーン「切」の場合(☞P36)
水が青く見える 浴そうや洗面台が青く変色した	＊水中に含まれるわずかな銅イオンが水中に溶け出して青色の化合物が生成され、水が青く見えたり、浴そうや洗面台が青く変色したりすることがありますが健康上問題ありません。 浴そうや洗面台はこまめに掃除することにより、発色しにくくなります。
追いだきしないのに浴そうの水が温かくなる	＊暖房使用中に、ふろの凍結予防(ポンプ自動運転)がはたらくと、浴そうの水が温かくなることがあります。

故障・異常かな？と思ったら-3

故障表示をお調べください

不具合が生じたとき、時計表示部に故障表示が点滅します。
下表に応じた処置をしてください。

故障表示点滅

(表示は例です)

故障表示	原因	処置
002	初めておふろの自動沸かしをするとき、浴そうに試運転時の水などが残っていたため	再度ふろ自動スイッチを押すと故障表示が消えるので、次回おふろの自動沸かしをするとき、浴そう内に残り湯がない状態でおこなってください。(それ以降は残り湯があっても自動沸かしできます)
011	給湯を連続80分以上運転したため	給湯栓を閉め、運転スイッチをいったん「切」にし、再度「入」にして使用してください。
032	浴そうの排水栓の閉め忘れ	浴そうの排水栓を閉め、再操作をして表示が出なければ正常です。
111	給湯側の点火エラーが生じたため	運転スイッチを「切」にし、右ページ※の事項を確認して、問題があれば処置してください。 その後運転スイッチを「入」にし、給湯栓を開いて表示が出なければ正常です。
113	ふろ側の点火エラーが生じたため	運転スイッチを「切」にし、右ページ※の事項を確認して、問題があれば処置してください。 その後運転スイッチを「入」にし、追いだきスイッチを押して表示が出なければ正常です。
	暖房側の点火エラーが生じたため	運転スイッチと放熱器側の運転を「切」にし、右ページ※の事項を確認して、問題があれば処置してください。 運転スイッチと放熱器側の運転を「入」にして暖房運転をし、表示が出なければ正常です。
161	お湯の温度が設定温度より異常に上がりすぎたため	給湯栓を閉め、運転スイッチをいったん「切」にし、再度「入」にして、給湯栓をもっと開いて使用してください。
562	断水などで水が通っていないため(おふろの自動沸かし、追いだき、足し湯、さし水の時)	給水元栓が開いているか、断水していないか(カランから水が出るか)を確認し、いったん運転スイッチを「切」にし、通水を確認してから再使用してください。
832	追いだきのとき、浴そうのお湯(水)が足りないため	運転スイッチをいったん「切」にして再度「入」にし、浴そうのお湯(水)を循環アダプターの上部より5cm以上入れてから追いだきしてください。(☞P23)
	循環アダプターのフィルター詰まり、または、循環アダプターが正常に取り付けられていないため	循環アダプターのフィルターが詰まっていないか、循環アダプターが正常に取り付けられているか確認して、運転スイッチをいったん「切」にし、再度「入」にして使用してください。
901 903	機器の磁気に異常が生じたため	修理を依頼してください。

(次ページへ)

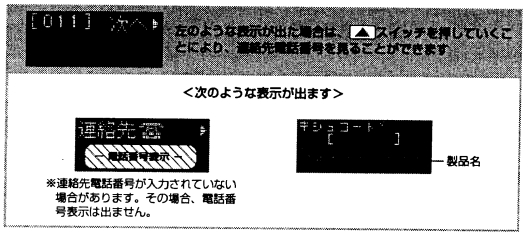
(つづき)

故障表示	原因	処置
101 103	給排気に異物が生じたため、安全のために能力を低下させます	能力低下の状態で使用できますが、安全のため点検を受けてください。
991 993	機器の磁気に異常が生じたため	修理を依頼してください。

※111 113 確認事項 ・ガス栓が開いているか ・ガスメータ(マイコンメータ)がガスをしゃ断していないか

以下の場合は、販売店または、もよりの東京ガスにご連絡ください

- ●前記以外の表示(例：111 など)が出るとき
- ●前記の処置をしてもなお表示が繰り返し出るとき
- ●その他、わからないとき



アフターサービスについて

サービスを依頼されるとき

P43~48の「故障・異常かな？と思ったら」を調べていただき、なお異常のあるときは、販売店または、もよりの東京ガスにご連絡ください。

連絡していただきたい内容
- 製品名 ……… NR-AD824RFA-RA
- お買い上げ日 ・・・ 保証書をご覧ください
- 異常の状況 ・・・・・ 故障表示など、できるだけくわしく
- ご住所・ご氏名・電話番号
- 訪問ご希望日

※作業に危険を伴う場所に製品が取り付けられている場合は、アフターサービスをお断りすることがあります。（工事店にご相談ください。）

保証について

取扱説明書の最終ページに保証書がついています。
必ず「販売店名・お買い上げ日等」が記入されているのを確認してください。
保証書の内容をよくお読みになったあとは、大切に保管しておいてください。

無料修理期間経過後の故障修理については、修理によって機能が維持できる場合、有料で修理いたします。

補修用性能部品の最低保有期間について

この製品の補修用性能部品の最低保有期間は、製造打切後7年です。
なお、補修用性能部品とは、製品の性能を維持するための部品です。

移設される場合

転居などで機器を移設されるときは、機器(銘板)に表示してあるガスの種類・電源(電圧・周波数)が移設先と合っているか必ずご確認ください。
不明のときは、移設先のガス事業所、販売店または、もよりの東京ガスにご相談ください。

ガスの種類の異なる地域へ移設されるときは、機器の改造・調整が必要です。この改造・調整に伴う費用は、保証期間中でも有料です。

主な仕様

・本仕様は改良のためお知らせせずに変更することがあります。
・出湯能力は湯水混合の計算値です。
　但し、水圧、給湯配管の条件、お湯の設定温度によって多少異なります。
・ガスはJISに規定する標準ガス、標準圧力での値です。

仕様表／能力表

24号		全自動タイプ
製品名		NR-AD824RFA-RA
型式名		GTH-2417AWX3H
給湯方式		先止め式
設置方式		屋外設置形
点火方式		放電点火式
水圧	使用水圧〈kPa〉	98.1~981 (1.0~10.0kgf/㎠)
	作動水圧〈kPa〉	9.81 (0.1 kgf/㎠)
最低作動流量〈L/分〉		3.5
外形寸法〈mm〉		高さ750×幅480×奥行240
質量（本体）〈kg〉		43
接続口径	ふろ（往き・戻り）	QF16ジョイント
	暖房（往き・戻り）	高温往き、戻り…QF16ジョイント　低温往き…CHジョイント×3
給湯		R3/4
給水		R3/4
給ガス		R3/4
オーバーフロー		R1/2
電源		AC100V (50/60Hz)
定格消費電力	消費電力(50/60Hz)〈W〉	285／320
		（凍結予防ヒータ 145）
点火用電源電力		運転スイッチ「入」約16W（省電力モード：約4.6W）、「切」約4.2W　<台所・浴室リモコン取付>
湯温制御方式		電子式ガス比例制御方式
安全装置		立消え安全装置、空だき防止装置、過熱防止装置、凍結予防装置、過圧防止安全装置、通電安全装置、空だき安全装置、満量防止装置、停電時安全装置、ファン回転検知装置、暖房ポンプ回転検知装置、過電流防止装置、誤導雷保護装置

使用ガス		1時間当りのガス消費量（最大消費量）			出湯能力(最大時)〈ℓ/分〉	
		給湯暖房(ふろ)併用	給湯用	暖房(ふろ)用	水温+25℃上昇	水温+40℃上昇
都市ガス〈kW(Mcal/h)〉	13A	69.5 (59.800)	52.3 (45.000)	17.2 (14.800)	24	15
	12A	64.8 (55.700)	48.7 (41.900)	16.0 (13.800)	23	14

保証書

品名	ガス暖房ふろ給湯器 NR-AD824RFA-RA
型式名	GTH-2417AWX3H

上記本体をお買い上げいただきましてありがとうございます。この保証書は、東京ガス供給区域内において、都市ガスにてご使用になる場合に、本書記載内容で無料修理をお約束するものです。

記

1　保証期間は、お買い上げの日から2年間とし、本体(リモコン含む)を対象にします。なお、下記部品については、別途以下の年数を保証いたします。
　　電装基板・リモコン(電装基板に起因する故障のみ)……3年
2　万一故障の場合は、お買い上げの販売店または、もよりの東京ガスへお申し出ください。原則として、出張修理いたします。
3　サービス員がお伺いした時に、本証書をご提示下さい。
4　保証期間内においても、次の場合は有償修理といたします。
　(1)　住宅用途以外でご使用になる場合の不具合
　(2)　取扱説明書等の記載事項によらないでご使用した場合の不具合
　(3)　器具を調整、改造された場合の不具合(但し　当社販売の場合はのぞきます)
　(4)　お買い上げ後、取付場所の移動、落下等による不具合
　(5)　建築躯体の変形等器具本体以外に起因する当該器具の不具合、塗装の色あせ等の経年変化またはご使用に伴う摩耗等により生じる外観上の現象
　(6)　強い腐食性の雰囲気地域に起因する不具合
　(7)　犬、猫、ねずみ、昆虫等の動物の行為に起因する不具合
　(8)　火災や凍結、落雷、地震、噴火、洪水、津波等の天変地異または戦争、暴動等の破壊行為による不具合
　(9)　電気、給水の供給トラブル等に起因する不具合
　(10)　指定規格以外のガス、電気または熱媒等をご使用したことに起因する不具合
　(11)　給水・給湯配管などの錆び等異物混入に起因する不具合
　(12)　温泉水、井戸水等を給水したことに起因する不具合
　(13)　本保証書を紛失された場合
5　無料修理やアフターサービス等についてご不明な場合はお買い上げの販売店または、もよりの東京ガスへお問い合わせ下さい。

保証履行者　東京ガスリビング株式会社　〒105-8527　東京都港区海岸1丁目5番20号

■お買い上げ日および販売店名

お買い上げ日	平成　　年　　月　　日	
販売店		扱者印
住所		
電話番号		

■修理記録
この本体の修理記録は、本体のフロントカバーの裏に記録します。

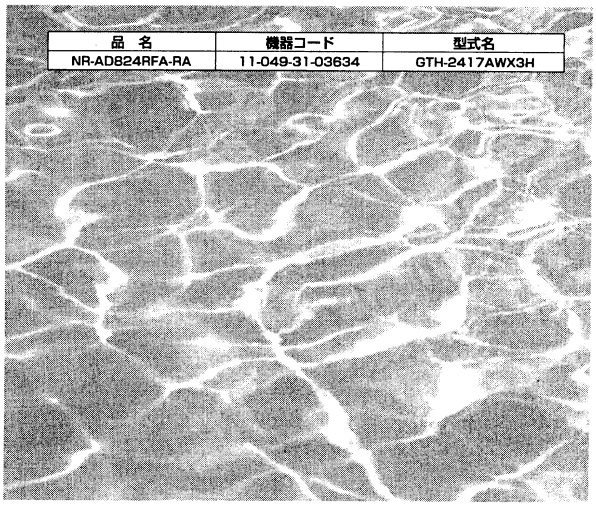
■お客さまへ
1．この保証書をお受け取りになる時に販売年月日、販売店、扱者印が記入してあることを確認してください。
2．本証書は再発行いたしませんので紛失されないよう大切に保存してください。
3．無料修理期間経過後の故障修理等につきましては「アフターサービス」の項をご覧ください。
4．この保証書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありません。

◆この取扱説明書は再生紙を使用しています◆

■蛍光管表示リモコン用

ガス暖房ふろ給湯器
取扱説明書 保証書付

リモコン
NR-RBT01A
NR-RKT01A用



品名	機器コード	型式名
NR-AD824RFA-RA	11-049-31-03634	GTH-2417AWX3H

このたびは給湯暖房用熱源機をお求めいただきまして、まことにありがとうございます。
●この説明書をよくお読みになって、正しくご使用ください。
　なお、**別売品の取扱説明書がある場合は、必ずそちらも併せてお読みください。**
●保証書(裏表紙)は必ずお買い上げ日・販売店名などの記入を確かめてください。
●この説明書(保証書付)はいつでもご覧になれるところに保管してください。

TOKYO GAS

SAQ8393①

こんなことができます

お湯を出す

お湯の温度をお好みの温度に設定して使用できます。（目安の温度：℃）

32	35	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49
食器洗いなど				シャワー、給湯など					給湯など					(高温)を表示

おふろを自動で沸かす
残り湯を沸かし直す

設定した温度・湯量で自動的にお湯はり

ストップ

お湯がさめたら

自動で追いだき保温

お湯が減れば

自動で足し湯

自動保温・自動足し湯は、沸き上がりから4時間以内
※保温時間は変更できます

おふろの追いだきをする
<あつく>

おふろのお湯の温度を上げることができます。

おふろに足し湯をする
<たっぷり>

おふろのお湯の量を増やすことができます。

おふろのお湯をぬるくする
<ぬるく>

おふろのお湯の温度を下げることができます。

おふろの沸き上がり時刻を予約する
(台所リモコンがある場合)

設定した温度・湯量で自動的にお湯はり

設定した時刻に沸き上がり

お湯がさめたら

自動で追いだき保温

お湯が減れば

自動で足し湯

自動保温・自動足し湯は、沸き上がりから4時間以内
※保温時間は変更できます

暖房する

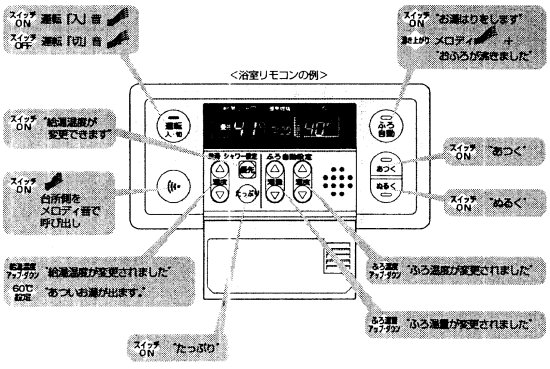
「暖　　房」

お部屋をあたためることができます。

リモコンの特徴

リモコンが音声でお知らせします　<音声ガイド>

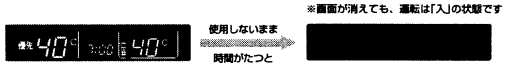
操作の内容を女性の声やメロディでお知らせします。
台所リモコン・浴室リモコンの両方がある場合には、片方のリモコンで温度設定を変更したことを、もう一方のリモコンでも声でお知らせします。
お年寄りやお子様にも、耳で聞いて確認できるわかりやすい設計です。
（音声ガイドをやめたり、音量を変更したりすることができます。(☞P29,30)）



リモコンの無駄な電力消費を防ぐ　<表示の節電>

リモコンの無駄な電力消費を防ぐため、また画面の焼き付き防止のために<表示の節電>の設定ができます(☞P29,30)。機器を使用しないまま約10分(おふろの機能を使った場合、浴室リモコンでは約1時間)たつと、画面表示が消えて、運転ランプのみ点灯します。

※画面が消えても、運転は「入」の状態です



＊再使用したり、スイッチを押すと、表示の節電を解除します。
＊給湯温度を60℃に設定している場合は、安全のため、表示の節電はしません。
＊台所リモコンのカバー内の液晶表示画面は、表示の節電になっても消えません。

お使いのリモコンの名称をお確かめください。

もくじ

必ずお守りください(安全上の注意) …… 1
各部のなまえとはたらき(本体) …… 6
各部のなまえとはたらき(リモコン) …… 7
浴室リモコン NR-RBT01A …… 7
台所リモコン NR-RKT01A …… 9
初めてお使いになるときは …… 11

使いかた
時計を合わせる …… 12
お湯を出す/お湯の温度を調節する …… 13
おふろを自動で沸かす …… 15
残り湯を沸かし直す …… 18
ふろ温度を調節する …… 19
ふろ湯量を調節する …… 20
おふろの追いだきをする(あつく) …… 21
おふろに足し湯をする(たっぷり) …… 22
おふろのお湯をぬるくする …… 23
浴室から台所リモコンのチャイムを鳴らす …… 24
ふろ配管クリーンについて …… 24
おふろの沸き上がり時刻を予約する …… 25
暖房する …… 27
色配定を変更する …… 29
(リモコンの清掃、節電ガイド、おふろの自動機能、
リモコンの表示の意味、ふろ配管クリーン、湯温の水準等)

取扱説明書 NR-AD824RFA-RA 1104931036341315 01

必ずお守りください(安全上の注意)-1

お使いになる方や他の方への危害・財産への損害を未然に防止するために、つぎのような区分・表示をしています。
いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ずお守りいただき、内容をよく理解して正しくお使いください。

■危害・損害の程度による内容の区分

⚠危険	この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される内容です。
⚠警告	この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。
⚠注意	この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性および物的損害のみが発生する可能性が想定される内容です。
お願い	安全に快適に使用していただくために、理解していただきたい内容です。

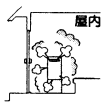
■注意・禁止内容の絵表示

高温注意	感電注意	必ずおこなう	アース必要
禁止	火気禁止	接触禁止	ぬれ手禁止

⚠危険

屋内に設置しない

一酸化炭素中毒の原因になります。



⚠警告

ガス漏れに気づいたときは、
1. すぐに使用をやめる
2. ガス栓を閉める
3. 販売店または、もよりの東京ガスに連絡する

ガス漏れ時は、絶対に
- 火をつけない
- 電気器具のスイッチの入・切をしない
- 電源プラグの抜き差しをしない
- 周辺の電話も使用しない

火や火花で引火し、火災の原因になります。

(つづく)

(つづき)

異常燃焼・異常臭気を感じたときや、地震・火災などの緊急時は、次の手順に従う
1. 給湯栓を閉める
2. 運転スイッチを「切」にする
3. ガス栓・給水元栓を閉める
4. 販売店または、もよりの東京ガスに連絡する

火災・感電・故障などの予防のため。

シャワー使用時は、手で湯温を確認してから使用する

入浴時も、浴そうの湯温を手で確認してから入浴する

やけど予防のため。

おふろ沸かし、沸かし直し、追いだき時は、循環アダプター付近があつくなるのでさわらない

やけど予防のため。

機器の設置・移動および付帯工事は、販売店に依頼する

安全に使用していただくため。

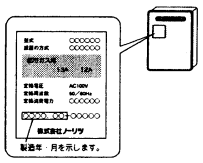
修理技術者以外は修理・分解・改造をしない

火災や故障の原因になります。

灯油、ガソリン、ベンジンなど、引火のおそれのある物を機器のまわりで使用しない

火災の原因になります。

必ず銘板に表示のガス・電源で使用する



表示以外のガス・電源で使用すると、異常燃焼し、火災や感電の原因になります。

【床暖房が設置されている場合】床暖房の上で長時間座ったり、寝そべったりしない

低温やけどの原因になります。

シャワー使用時は、使用者以外温度を変えない、運転「切」にしない

高温に変更されたときのやけど予防のため。
また、低温に変更されたり運転「切」にされると、冷水になって使用者がびっくりする原因になります。

お湯の中にもぐったり、循環アダプターのフィルターをはずして使用しない

運転中に体の一部や髪の毛などが吸い込まれて、おぼれたり、けがをするおそれがあります。

子供を浴室内で遊ばせない 子供だけで入浴させない

思わぬ事故の原因になります。

スプレー缶を、機器本体や排気口のまわりに置かない、使用しない

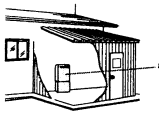
熱でスプレー缶の圧力が上がり、爆発・火災の原因になります。

(つづく)

必ずお守りください(安全上の注意)-2

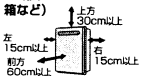
(つづき)

増改築などで屋内状態にしない(波板囲いなどをしない)



一酸化炭素中毒・火災の原因になります。

燃えやすい物とは離す(樹木、木材、箱など)



火災予防のため。

燃えやすい物をまわりに置かない(洗濯物、新聞紙、灯油など)

火災の原因になります。

⚠注意

必ずアースする

機器が故障した場合、感電の原因になります。

電源プラグはぬれた手でさわらない

感電の原因になります。

電源コード、電源プラグの破損・加工をしない

束ねたり、無理に曲げたり、引っ張ったり、物を乗せたり、衝撃を与えたりして無理な力を加えない。傷つけない。加工をしない。

感電、ショート、火災の原因になります。

使用中や使用後しばらくは、排気口付近に触れない

やけど予防のため。

電源プラグは、コードを持たずにプラグを持って抜く

コードを持って抜くと、コードが破損し、発熱、火災、感電の原因になります。

電源プラグは根元まで確実に差し込む

差し込みが不充分だと、感電や火災の原因になります。

電源プラグのほこりはときどき取る

ほこりがたまると、火災の原因になります。

太陽熱温水器とは絶対に接続しない

お湯の温度制御ができなくなり、やけどや機器の故障の原因になります。

(つづく)

(つづき)

給湯、シャワー、おふろを沸かす、暖房以外の用途には使用しない

思わぬ事故を予防するため。

お願い

機器や配管に長時間たまった水や、朝一番のお湯は飲まない、調理に使用しない

雑用水として使用してください。

浴そうの循環アダプターをタオルなどでふさがない穴に物を詰めない

おふろ沸かしができません。
機器の故障の原因になります。

業務用のような使いかたをしない

製品の寿命を短くします。
業務用のような使いかたをした場合の修理は、保証期間内でも有料になります。

水圧の低い地域では泡沫水栓を使用しない

給湯栓の先端に泡沫水栓が内蔵されているものは、ときどきフィルター(金網)を掃除する

わからない場合は、販売店または、もよりの東京ガスに確認してください。

水道法に定められた飲料水の水質基準に適合しない井戸水、または温泉水で使わない

水質によっては、機器を腐食させる原因になります。

排気ガスが直接建物の外壁や窓、アルミサッシ(網入りガラスなど)に当たらないように設置する(増改築時注意)

ガラスが割れたり変色する原因になります。

リモコンを分解しない

故障や、思わぬ事故の原因になります。

リモコンの掃除には、ベンジンや油脂系の洗剤を使用しない

変形する場合があります。

浴室リモコン・防水型壁設リモコンに故意に水をかけない

防水型ですが、多量の水は故障の原因になります。

台所リモコン・壁設リモコンに、水しぶきをかけない、蒸気をあてない

炊飯器、電気ポットなどに注意。
故障の原因になります。

硫黄、酸、アルカリを含んだ入浴剤・洗剤は使用しない
入浴剤や洗剤は、注意書きをよく読み、機器に影響のないものを使用する

入浴剤・洗剤は製品によっては機器の熱交換器が故障する原因になるものがあります。
入浴剤を使用して追いだきしたときに、異常音が出る場合はその入浴剤の使用をやめてください。

この機器の純正部品以外は使用しない

思わぬ事故の原因になります。

使用時の点火、使用後の消火を確認する

ガス事故防止のため。

(つづく)

必ずお守りください(安全上の注意)-3

(つづき)

浴そうのフィルターはこまめに掃除する (☞P35)

ポンプ故障の予防のため。

機器のまわりはきれいにしておく

まわりが雑草、木くず、箱などで雑然としていると、機器の内部にゴキブリが侵入したりクモの巣がはったりして、機器の損傷や火災の原因になることがあります。

浴そう、洗面台はこまめに掃除する

湯アカが残っていると、水中に含まれるわずかな銅イオンと、せっけんなどに含まれる脂肪酸とが反応して、青く変色することがあります。

停電後(または電源プラグを抜いたあと)は、設定した現在時刻を確認する

停電すると運転が停止し、また設定した現在時刻がリセットする場合があります。

運転スイッチ「切」時にはお湯側から水を出さない

お湯を出すときには、運転スイッチ「入」を確認してください。
運転スイッチ「切」時にお湯側から水を出すと熱交換器内に結露現象が発生し、不完全燃焼の原因になったり、電気部品の損傷の原因になります。
シングルレバー混合水栓の場合は、レバーを完全に水側にセットしてから水を出してください。

長期間使用しない場合、必要な処置をする (☞P33,34)

凍結および万が一のガス漏れを防止するため。

凍結による破損を予防する (☞P31~34)

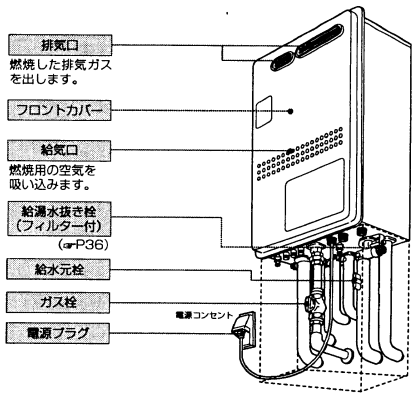
水漏れや故障の原因になります。

積雪時には給気口、排気口の点検、除雪をする

雪により給気口、排気口がふさがれると不完全燃焼し、機器の故障の原因になることがあります。

各部のなまえとはたらき(機器本体)

【屋外設置形】
NR-AD824RFA-RA

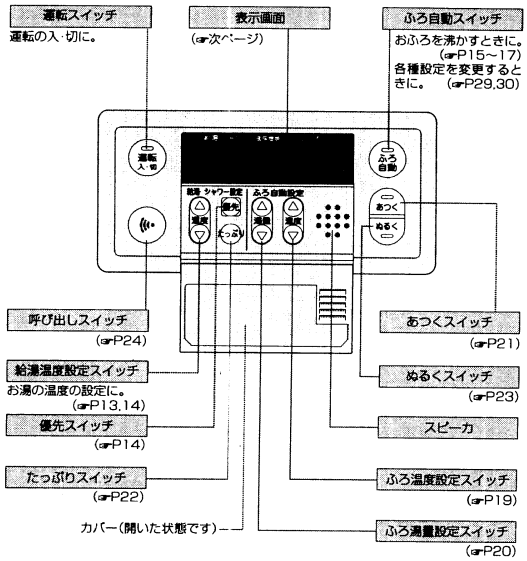


※上のイラストは施工例です。
配管の形状、給水元栓・ガス栓・電源コンセントの位置など実際と異なります。

各部のなまえとはたらき(リモコン-1)

浴室リモコン(NR-RBT01A)<別売品>

(浴室に取り付けます)

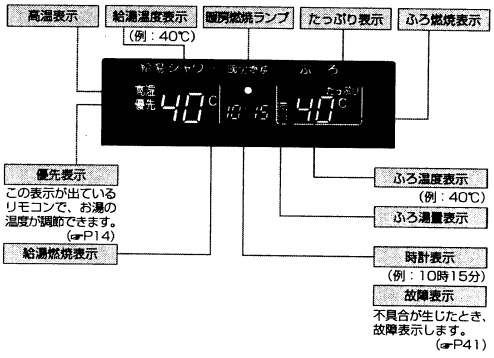


※ご使用になる前に、リモコン表面の保護シートを取り外してください。

その他の別売品リモコンをお使いの場合は、それぞれの取扱説明書をごらんください。

表示画面

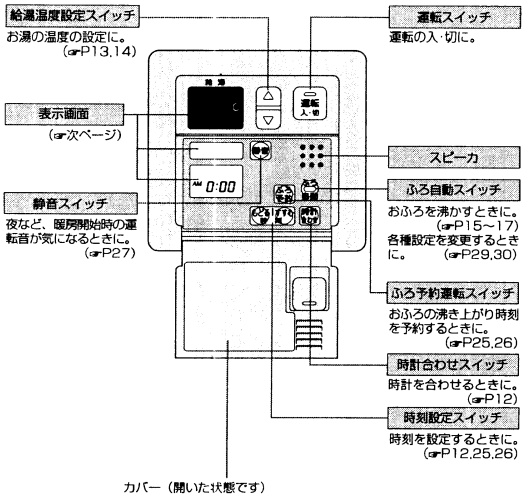
下記の表示画面は説明のため、全て表示したものです。
実際の運転のときは、該当部分を表示します。



各部のなまえとはたらき(リモコン-2)

台所リモコン(NR-RKT01A)<別売品>

(台所などに取り付けます)

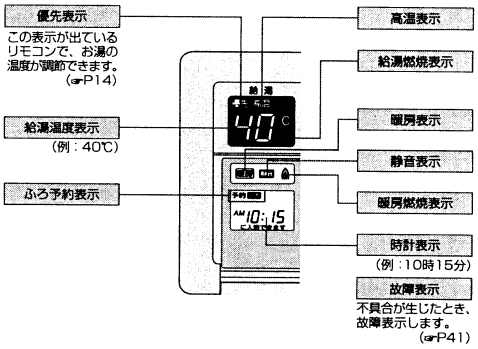


※ご使用になる前に、リモコン表面の保護シートを取り外してください。

その他の別売品リモコンをお使いの場合は、それぞれの取扱説明書をごらんください。

表示画面

下記の表示画面は説明のため、全て表示したものです。
実際の運転のときは、該当部分を表示します。



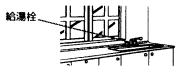
初めてお使いになるときは

1~7の手順でおこなってください。

1 据置台の前面を開ける。
(化粧ネジ2ヶ所)

2 給水元栓を全開にする。

3 給湯栓を開け、水の出ることを確認し、再度閉める。

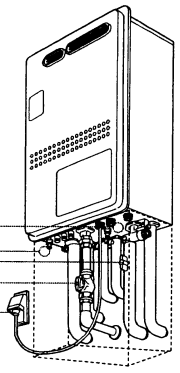


4 ガス栓を全開にする。

5 電源プラグを差し込む。
ぬれた手でさわらないで

6 据置台の前面を元どおり閉める。

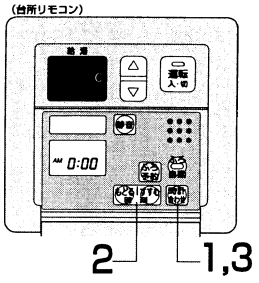
7 下記操作でポンプの呼び水をする。(浴室リモコンで操作)



①運転スイッチを「入」にする	②ふろ自動スイッチを「入」にする	③浴そうの循環アダプターから水が出てくることを確認する	④ふろ自動スイッチを「切」にする
点灯	点灯	リモコンに表示「111」が出たときは、運転スイッチをいったん「切」にし、もう一度①よりやり直してください。	消灯

使いかた 時計を合わせる (台所リモコンがある場合)

(台所リモコン)

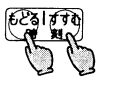


・台所リモコン(別売品)がない場合は、時計表示しないため、以下の操作は不要です。
・運転スイッチ「入・切」に関係なく設定できます。(左の画面表示は運転スイッチ「切」の状態です。)

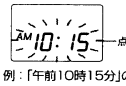
1 時計合わせスイッチを押す

(AM 0:00)が点滅します。

2 時刻を合わせる



一度押すごとに1分ずつ、押し続けると10分ずつ変わります。



例:「午前10時15分」のとき

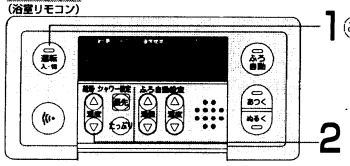
3 時計合わせスイッチを押す

点滅から点灯に変わり、時計が動き出します。

使いかた
お湯を出す/お湯の温度を調節する

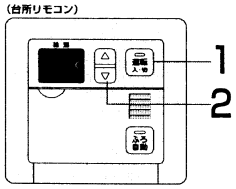
♀：女性の声でお知らせ

(浴室リモコン)



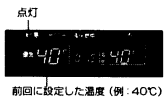
ここでは浴室リモコンでご説明します

(台所リモコン)



<運転スイッチ「切」のとき>

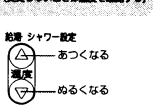
1 運転スイッチを「入」にする



前回に設定した温度（例：40℃）

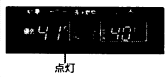
<一度設定すると記憶します>

2 給湯温度を調節する（変更しないときは温度を確認する）



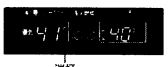
お湯の温度

3 給湯栓を開ける



点灯

4 使用後は給湯栓を閉める



消灯

お湯の温度の目安

（♀：設定の温度ですので、季節や配管の長さなどの条件により、実際の温度とは異なります。）

32	35	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	50
食器洗いなど			シャワー、給湯など						給湯など					高温

※初期設定（工場出荷時）＝40℃

●低温（食器洗いなど）に設定したときは、水温が高い場合その温度にならないことがあります。(☞P37)

サーモ付混合水栓の場合は、リモコンのお湯の温度設定をご希望の温度より約10℃高く設定すると、ちょうどよくなります。

お湯の温度の調節ができない場合は、以下の操作をしてください―― 優先切替

(浴室リモコン・台所リモコンの両方がある場合)

※設定温度は例です。

	温調節できない状態	→ 温調節するには(優先切替) →	温調節できる状態
浴室リモコン	「優先」表示していない ※給湯温度設定スイッチを押すと ♀"優先スイッチを押してください"	優先スイッチを押す ♀"給湯温度が変更できます"	表示
台所リモコン	点灯していない ※設定スイッチを押すと ♀"浴室優先です"	運転スイッチを一度「切」にし、再度「入」にする 消灯→点灯 ※ふろ温調中にこの操作をするとふろ温調が停止します。	点灯

⚠警告

高温注意

やけど予防のために。

●シャワーを使用するときは、いきなり体や顔にかけず、リモコンの給湯温度表示を確認し、手でお湯の温度を確認してから使用してください。

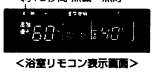
●60℃に設定したときは、
・♀"あついお湯が出ます"
・約10秒間高温表示が点滅後、点灯
でお知らせします。

●表示の温度をよく確かめてから使用してください。
60℃の高温で使ったあと、あらためて使用するときは特に注意してください。

●シャワーなどお湯を使用中のとき、他の人はお湯の温度を変更しないでください。

●シャワーなどお湯を使用中のとき、他の人は(優先)を切り替えないでください。切り替えたほうの前回設定した温度に変わります。

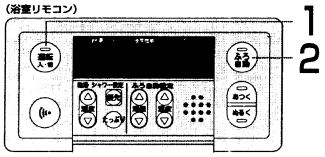
約10秒間 点滅→点灯



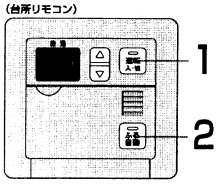
<浴室リモコン表示画面>

使いかた
おふろを自動で沸かす-1

(浴室リモコン)



(台所リモコン)

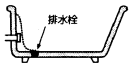


ここでは浴室リモコンでご説明します

<運転スイッチ「切」のとき>

運転前の準備

1. 浴そうの排水栓を閉める。
2. 浴そうの循環アダプターに、フィルターが付いていることを確かめる。
3. 浴そうのふたをする。



1 運転スイッチを「入」にする

表示

ふろ温度・湯量の変更のしかた
19~20ページ参照

⚠警告

高温注意

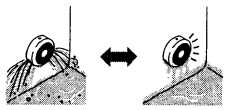
やけど予防のために。

お湯はり中に、台所やシャワーなどでお湯を使うと、ふろ設定温度のお湯が出ます。
お湯はりが終わると給湯設定温度のお湯が出ますので、給湯温度を高温に設定しているときはご注意ください。

<故障ではありません>

＊ふろ自動スイッチを押すと、しばらくは浴そうの循環アダプターからお湯が出たり止まったりします。
残り湯の量を確認しているためで、故障ではありません。

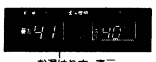
＊おふろの自動沸かしが完了しないうちにふろ自動スイッチを何度も「切」にしたり「入」にしたりするのを繰り返すと、お湯があふれることがあります。



(次ページへ)

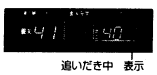
2 ふろ自動スイッチを「入」にする

1)お湯はりを開始します。



お湯はり中 表示

2)お湯はりがおわると、追いだきします。



追いだき中 表示

3)入浴できる状態に近づくと、ブザー(ピピピ音)でお知らせし、ランプが早い点滅に変わります。

使いかた
おふろを自動で沸かす-2

ごきげんオート

おふろに入ると、体温でお湯の温度が少し下がります。
そこで「ぬるいナ」と感じる前に自動的にあたためます。
(沸き上がり以降)

入浴したのをセンサーが検知します。

約30秒後に追いだきを開始して、ふろ設定温度まで追いだきします。

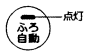
保温時間中、ごきげんオートがはたらきます。

沸き上がり後の自動追いだき保温・自動足し湯および、追いだき・足し湯終了後約2分間および、さし水終了後約15分間ははたらきません。

(前ページより)

沸き上がり

メロディでお知らせします。



約4時間、自動追いだき保温・自動足し湯を続けます。
※保温時間は変更できます。(☞P29,30)

・途中でふろ自動運転をやめたいとき
・沸き上がり後、自動追いだき保温・自動足し湯・ごきげんオートの必要がないとき

ふろ自動スイッチを「切」にする。(ランプ消灯)

沸き上がったあとで、ふろ自動スイッチを切り、排水栓を抜くと、自動的にふろ配管内の残り湯を排出します。
(☞P24「ふろ配管クリーンについて」)

使いかた
残り湯を沸かし直す

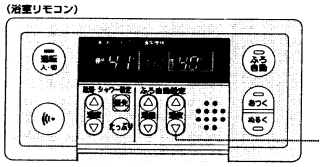
残り湯の沸かし直しは、「おふろを自動で沸かす-1,2」(☞P15～17)と同じ操作でおこなってください。

沸かし直すときのお湯の量について

設定量の不足分を足し湯し、設定温度まで沸かし上げます。

使いかた
ふろ温度を調節する

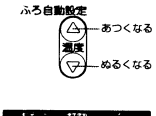
(浴室リモコン)

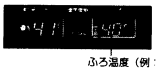


一度設定した温度は、次回変更するまで記憶しています。

※運転スイッチ「切」のときは必ず「入」にしてください。

1 ふろ温度設定スイッチで ふろ温度を調節する





ふろ温度の目安

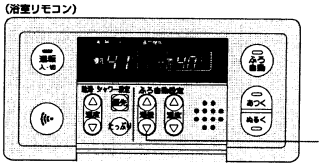
(℃ 目安の温度ですので、季節や配管の長さなどの条件により、実際の温度とは異なります。)

37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48
ぬるめ			ふつう						あつめ		

※初期設定(工場出荷時)=40℃

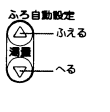
使いかた
ふろ湯量を調節する

(浴室リモコン)



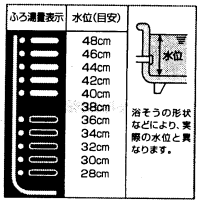
一度設定した湯量は、次回変更するまで記憶しています。

1 ふろ湯量設定スイッチで ふろ湯量を調節する



ふろ湯量の目安 ※初期設定(工場出荷時)=6

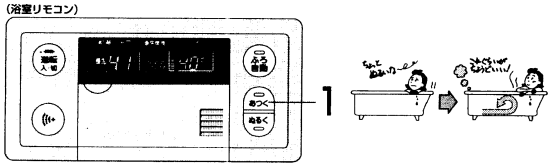
ふろ湯量表示	水位(目安)
	48cm
	46cm
	44cm
	42cm
	40cm
	38cm
	36cm
	34cm
	32cm
	30cm
	28cm



浴そうの形状などにより、実際の水位と異なります。

使いかた
おふろの追いだきをする(あつく)

(浴室リモコン)



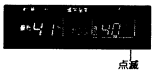
※運転スイッチ「切」のときは必ず「入」にしてください。

運転前の準備

浴そうの循環アダプター上部より5cm以上お湯(または水)が入っているか確認する。

1 あつくスイッチを 押す

お湯の温度がふろ設定温度より低い場合は設定温度まで、お湯の温度がふろ設定温度以上の場合はお湯の温度＋約1℃まで、追いだきします。(最高50℃まで)



追いだきが終わると、自動的に止まります。(ランプ消灯)

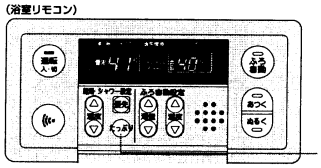
追いだきを途中でやめたいとき

もう一度、あつくスイッチを押す。(ランプ消灯)

●「おふろの追いだき」は、「おふろの自動沸かし」中は使用できません。

使いかた
おふろに足し湯をする(たっぷり)

(浴室リモコン)



※運転スイッチ「切」のときは必ず「入」にしてください。

1 たっぷりスイッチを 押す

ふろ設定温度のお湯を約20ℓ足し湯し、自動的に止まります。

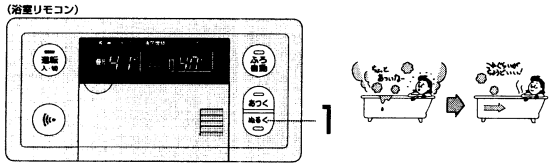
足し湯を途中でやめたいとき

もう一度
たっぷりスイッチを押す。
(たっぷり表示消灯)

●「足し湯」中に台所やシャワーなどでお湯を使うと、ふろ設定温度のお湯が出ます。
●「足し湯」は、「おふろの自動沸かし」中は使用できません。

使いかた
おふろのお湯をぬるくする

(浴室リモコン)



※運転スイッチ「切」のときは必ず「入」にしてください。

1 ぬるくスイッチを 押す

ふろ設定温度より約1℃下げるために必要な水がはいり(その後ランプ消灯)、約3ℓのお湯がはいってから停止します。

「ぬるく」を途中でやめたいとき

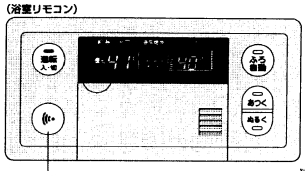
もう一度ぬるくスイッチを押す。
(ランプ消灯)

※約3ℓのお湯を入れてから停止します。

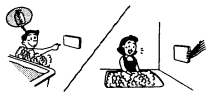
●「ぬるく」は、お湯の使用中または「おふろの自動沸かし」中は使用できません。
●「ぬるく」中に台所やシャワーなどでお湯を使うと、「ぬるく」は中止されます。

使いかた
浴室から台所リモコンのチャイムを鳴らす
(台所リモコンがある場合)

(浴室リモコン)



浴室にいるとき何か必要な物があったり気分が悪くなって人を呼びたいとき、呼出スイッチで知らせることができます。



呼び出しスイッチを 押す

メロディで呼び出します。

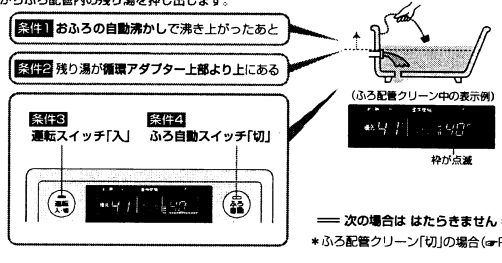
押し続けると、手を放すまで呼び出し音をくりかえします。

●呼び出しスイッチは運転スイッチの「入/切」に関係なく使用できます。
●台所リモコンがない場合は、浴室リモコンでのみ呼び出し音が鳴ります。

ふろ配管クリーンについて

次の条件がそろったときに排水すると、機器がふろ配管にお湯を約7ℓ流して、循環アダプターからふろ配管内の残り湯を押し出します。

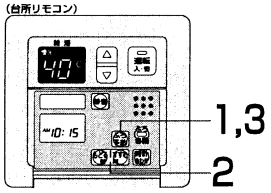
条件1 おふろの自動沸かしで沸き上がったあと
条件2 残り湯が循環アダプター上部より上にある
条件3 運転スイッチ「入」
条件4 ふろ自動スイッチ「切」



＝ 次の場合は はたらきません ＝
＊ふろ配管クリーン「切」の場合(☞P30)

使いかた
おふろの沸き上がり時刻を予約する
（台所リモコンがある場合）

（台所リモコン）

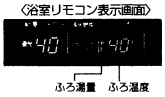


運転前の準備

予約時刻（沸き上がり時刻）の約30分～60分前におふろ沸かしを開始するため、60分前までには予約してください。

1. 浴そうの排水栓を閉める。
2. 浴そうの循環アダプターに、フィルターが付いていることを確かめる。
3. 浴そうのふたをする。
4. 沸き上がり時のふろ温度とふろ湯量を確認する。

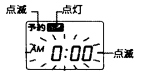
〈浴室リモコン表示画面〉



5. 現在時刻が正しいかどうか確認する。

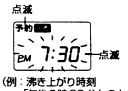
＜一度設定すると記憶します＞

1 ふろ予約スイッチを押す



一度沸き上がり時刻を設定している場合は、その時刻を表示します。

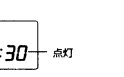
2 沸き上がり時刻を設定する（変える必要がない場合 3へ）



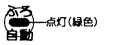
（例：沸き上がり時刻「午後7時30分」のとき）

一度押すごとに10分ずつ、押し続けると1時間ずつ変わります。

3 予約時刻を確認しふろ予約スイッチを押す



ふろ自動ランプが点灯します。



おふろ沸かしが始まる前に予約をやめたいとき

もう一度ふろ予約スイッチを押す。（予約表示 消灯）

⚠警告

やけど予防のために。

お湯はり中に　台所やシャワーなどでお湯を使用すると、ふろ設定温度のお湯が出ます。
お湯はりが終わると給湯設定温度のお湯が出ますので、給湯を高温に設定しているときはご注意ください。

●運転スイッチ「入・切」に関係なく予約運転できます。（イラストは「入」の状態です。）
●前日などの残り湯（水）があるとき、または、予約運転中に給湯を使用すると、沸き上がり時刻が遅くなる場合があります。

おふろ沸かし開始

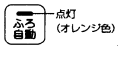
予約した時刻におふろが沸き上がるように、約30～60分前におふろ沸かしを開始します。

おふろ沸かしが始まったあとで、おふろ沸かしをやめたいとき

ふろ自動スイッチを押す。
（ランプ消灯）

沸き上がり

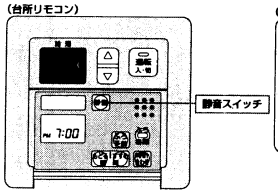
メロディでお知らせします。



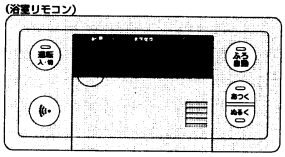
約4時間、自動追いだき保温
・自動足し湯を続けます。
※保温時間は変更できます。
（☞P29,30）

使いかた
暖房する

（台所リモコン）



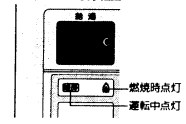
（浴室リモコン）



暖房する部屋の放熱器の運転スイッチを「入」にする

機器が運転します。

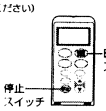
＜台所リモコン表示画面＞



＜浴室リモコン表示画面＞

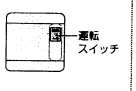
燃焼時点灯

＜ホットドライUの場合＞
（ホットドライUの取扱説明書もご覧ください）



1. 暖房スイッチを押して運転する
2. 使い終わったら停止スイッチを押して運転を停止する

＜床暖房リモコンの場合＞
（床暖房リモコンの取扱説明書もご覧ください）



1. 運転スイッチを押し、お好みの温度に調整する
2. 使い終わったら運転スイッチを押して運転を停止する

暖房を切るときは

放熱器の運転スイッチを「切」にする。

静音スイッチの使いかた

夜など、暖房開始時の運転音が気になるときに静音スイッチを押してください。

暖房時の運転音を下げて運転します。
（このとき暖房能力は少し低下します。）

静音スイッチのはたらき
通常、暖房開始時は最大能力運転となりますが、静音スイッチを押すことで暖房能力を低下させ、運転音を下げることができます。

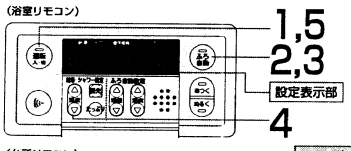
※静音運転をやめるときは、もう一度静音スイッチを押してください。

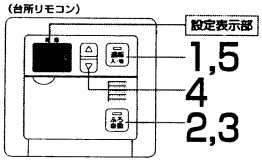
⚠注意

●床暖房の上に電気カーペットを敷かないでください。床材の割れ、そり、隙間の原因となります。
●床暖房の上に鋭利なものを落としたり、刺したりしないでください。温水パイプが破損します。
●ホットドライUの温風口にさわらないでください。やけどの危険性があります。
●床暖房の上で高い温度に設定したまま、長時間座ったり寝そべったりしないでください。低温やけどを起こす原因になります。
特に次のような方が使用する場合は、まわりの人が注意してあげることが必要です。
・乳幼児、お年寄り、病人など自分の意志で体を動かせない方
・疲労の激しいときや深酒をしたとき　・皮膚の弱い方

●台所リモコンの運転スイッチの「入・切」に関係なく暖房運転できます。
（イラストは「切」の状態です）
●放熱器の運転方法・温度調節の方法については、放熱器側の取扱説明書にしたがってください。
●暖房水は自動的に補給されますので、給水元栓は開いたままにしておいてください。

使いかた
各設定を変更する（リモコンの音量、音声ガイド、おふろの保温時間、リモコンの表示の節電、ふろ配管クリーン、機器の水抜き）





次のような設定の変更ができます	
リモコンの音量	それぞれのリモコンで設定してください
リモコンの音声ガイド	
おふろの保温時間	浴室リモコン・台所リモコンのどちらでも設定できます
リモコンの表示の節電	それぞれのリモコンで設定してください
ふろ配管クリーン	浴室リモコン・台所リモコンのどちらでも設定できます
機器の水抜き	

ここでは浴室リモコンでご説明します

1 運転「切」にする

運転「切」の状態でのみユーザー設定の変更ができます。

2 ふろ自動スイッチを2秒間押す

ピッと鳴るまで(2秒間)押す。

はじめは「音量モード」を表示します。

3 ふろ自動スイッチを押して設定モードを選ぶ

押すごとにそれぞれの設定に切り替わります。

☞次ページ 3

4 給湯温度設定スイッチで変更する

それぞれの変更をします。

☞次ページ 4

5 設定が完了すれば運転スイッチを「入」にする

設定したあと機器を使用する場合は、運転スイッチを押して「入」にしてください。
使用しない場合は、そのまま30秒放置しておくと運転「切」の状態に戻ります。

□＝初期設定（工場出荷時）

	3 ふろ自動スイッチで設定モード（左の数字）を選ぶ	4 給湯温度設定スイッチで変更する（右の数字）
音量	「1」（音量モード）にする 11 点滅（ここを変更）	0 小 / 1 中 / 2 大 / 3 特大 音が最小になります
音声ガイド	「2」（音声ガイドモード）にする 23 点滅（ここを変更）	0 音声なし / 1 電子音 / 2 メロディ音 / 3 メロディ音＋音声 ・「呼び出し音」 ・「故障お知らせ音」 ・「沸き上がりメロディ」（台所のみ）は鳴ります。
ふろ保温時間	「3」（保温時間モード）にする 34 点滅（ここを変更）	（単位：時間） 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 保温なし
表示の節電	「4」（表示節電モード）にする 40 点滅（ここを変更）	0（しない）運転「入」の状態ならば、画面表示は消えません。（☞「リモコンの特徴」） 1（する）無駄な電力消費を防ぐため、また画面の焼付防止のため、機器を使用しないまま約10分（浴室リモコンはおふろの機能を使った場合約1時間）たつと画面表示が消えます。（運転ランプのみ点灯）（☞「リモコンの特徴」） ※給湯温度を60℃に設定している場合は、安全のため、表示の節電はしません。 ※台所リモコンの液晶表示部の画面は、表示の節電になっても消えません。
ふろ配管クリーン	「5」（ふろ配管クリーンモード）にする 51 点滅（ここを変更）	1（する）おふろを沸かして入浴が終わったあとなど、おふろのお湯（水）を排水すると、機器がふろ配管にお湯を約7ℓ注湯して、循環アダプターからふろ配管内の残り湯を押し出します。（☞P24） 0（しない）ふろ配管クリーンをしません。
機器の水抜き	「6」（機器の水抜きモード）にする 60 点滅（ここを変更）	機器の水抜きをするときに「1」にしてください。（☞P33）

凍結による破損を予防する-1

お願い
＊寒かい地域でも、機器や配管内の水が凍結して破損事故が起こることがあります。以下をお読みいただき、必ず必要な処置をしてください。
＊凍結により機器が破損したときの修理は、保証期間内でも有料修理になります。

機器内は凍結予防ヒーターで自動的に凍結予防します

■電源プラグを抜くと作動しないため、電源プラグは抜かない。
（運転スイッチ「入・切」に関係なく作動します。）

＊給水・給湯配管や、給水元栓およびふろ配管などの凍結は予防できません。必ず保温材または電気ヒータを巻くなどの地域に応じた処置をしてください。（わからないときは、販売店に確認してください。）
＊水がないとポンプが空運転し、機器から大きな音が発生する場合があります。

■ふろ配管を凍結予防するためには、浴そうの水を循環アダプター上部より5cm以上ある状態にする。

ポンプが自動的に浴そうの水を循環させて、凍結を予防します。

■暖房回路を凍結予防するためには、ガス栓を開いたままにしておく。

＊自動的に暖房運転（暖機）して暖房回路の水をあたため、凍結を予防します。
＊不凍液を使用している場合もあります。（機器フロントカバー下部にラベルが貼ってある場合は不凍液を使用しています）

■冷え込みが厳しいとき（注）は、さらに以下の処置をする。

機器だけでなく、給水・給湯配管、給水元栓なども同時に凍結予防できます。

1. 運転スイッチを「切」にする。
2. おふろの給湯栓を開いて、少量の水（1分間に約400cc…太さ約4mm）を流したままにしておく。
   ※サーモ付混合水栓やシングルレバー混合水栓の場合は、最高温度の位置に設定してください。
3. 流量が不安定になることがあるので、約30分後に再度流れる量を確認する。
   ※結露現象予防として、運転スイッチ「切」の状態で給湯栓から水を出さないようにお願いしていますが（☞P5）、凍結予防の処置の場合は問題ありません。

（注）外気温が極端に低くなる日（-15℃以下）や、それ以上の気温でも風のある日

＊サーモ付混合水栓やシングルレバー混合水栓の場合は、再使用時の温度設定にご注意ください。やけど予防のため。
＊この処置をしても凍結するおそれのある場合には、次ページの要領で水抜きをおこなってください。

凍結して水が出ないとき

1. ガス栓・給水元栓を閉める。
2. リモコンの運転スイッチを切り、給湯栓を開ける。
3. ときどき給水元栓を開け、水が出ることを確認する。
4. 水が出るようになっても、機器や配管から水漏れがないかよく確認の上使用してください。
   ※この処置でガス栓を閉めても、ポンプの循環で暖房回路の凍結予防は保たれます。

凍結した場合は、そのままでは絶対に使用しないでください。（暖房運転もしないでください）
機器の故障の原因となります。

凍結による破損を予防する-2

長期間使用しないときは、水抜きをしてください

⚠注意 高温注意 お湯の使用後は、機器内のお湯が高温になっていますので、機器が冷えてからおこなってください。やけど予防のため。

・右ページイラストを参照してください。
・水抜き栓などからお湯または水が約850cc出ますので、機器の下に容器などを置いて排水を受けてください。

準備

1 ガス栓を閉める。
2 給水元栓を閉める。

3 浴そう内の水を完全に排水する。
4 1)リモコンの運転スイッチを「切」にする。
2)P29~30「各設定を変更する」の要領で「機器の水抜き」の設定をする。
3)浴そうの循環アダプターから排水することを確認する。(注)
※約2分経過するとリモコンのお知らせ音(ピピッ音)が鳴ります。
※運転スイッチを「入」にすると水抜きを中止します。
※水抜きの途中で電源コンセントを抜かないでください。

<水抜き栓>
<エアーチャージ栓>

5 すべての給湯栓を全開にする。
6 1)給湯水抜き栓(フィルター付)を左に回して開け、外す。(排水します)
2)エアーチャージ栓を左に回して開ける。(2回転以上)
7 機器フロントカバー下部にあるラベルで、不凍液が入っているかどうか確認する。

<不凍液が入っている場合> ……	以下の8の操作は必要ありません。9の操作で水抜きをしてください。
<不凍液が入っていない場合> ……	以下の8,9の操作で水抜きしてください。ただし、放熱器や暖房配管の凍結予防はできません。

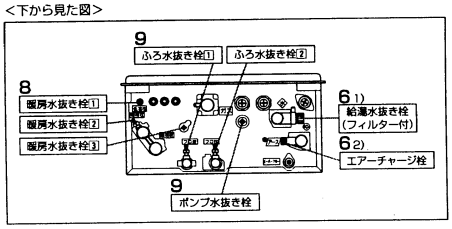
8 暖房水抜き栓[1][2][3]を左に回して開ける。(2回転以上)
9 4)2)の操作から2分以上経過したあと、ふろ水抜き栓[1][2]、ポンプ水抜き栓を左に回して開け、排水し、約3分そのままにする。

後始末

10 電源プラグを抜く。ぬれた手でさわらないで
11 すべて排水されたことを確認したあと、すべての水抜き栓・エアーチャージ栓、すべての給湯栓を閉める。

(注) ふろ側の水抜きをおこなったあとは、浴そうに水を流し込まないでください。

<下から見た図>



水抜き後の再使用のとき

1. 据置台の前面を開ける。(化粧ネジ2ヶ所)
2. すべての水抜き栓・エアーチャージ栓・給湯栓が閉まっていることを確認する。
3. 給水元栓を開ける。
4. すべての給湯栓を開け、水が出ることを確認してから閉め、機器や配管から水漏れがないかよく確認する。
5. ガス栓を開け、電源プラグをコンセントに差し込む。
6. 据置台の前面を元どおり閉める。
7. ポンプの呼び水をする。(☞P11)

※通水後初めての暖房・ふろ使用で、リモコンに故障表示(543)(173)が出る場合
放熱器側の運転とリモコンの運転スイッチをいったん「切」にし、機器の給水元栓が開いていること・すべての暖房水抜き栓が閉まっていることを確認し、電源プラグを抜き、再度電源プラグを差し込んで再使用してください。

日常の点検・お手入れのしかた

⚠注意 高温注意 点検・お手入れは、運転「切」にしておこなってください。お湯の使用後は、機器内のお湯が高温になっていますので、機器が冷えてからおこなってください。やけど予防のため。

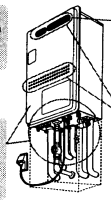
点 検(月1回程度)

チェック1 機器や排気口のまわりに洗濯物・新聞紙・木材・灯油・スプレー缶など、燃えやすいものを置いていないか?
➡燃えやすいものを置かない。(☞P3)

チェック2 排気口にススがついていないか?
➡ついていたら、販売店または、もよりの東京ガスへご連絡ください。

チェック3 ＊機器の外観に異常な変色や傷はないか?
＊運転中に機器から異常音が聞こえないか?
＊機器・配管から水漏れはないか?
➡現象があった場合は、販売店または、もよりの東京ガスへご連絡ください。

チェック4 排気口・給気口がほこりなどでふさがっていないか?
➡ふさがっている場合は、掃除する。



お手入れ(こまめに掃除)

循環アダプターのフィルター

フィルターが詰まると、お湯の温度がご希望の温度にならないおそれがありますので、以下の方法で必ずこまめに掃除してください。

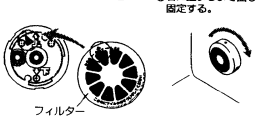
※運転「切」にしてからおこなってください。
※フィルターは必ず正常に取り付けて使用してください。外したままや、正常に取り付けられていない状態で使用すると、機器が故障することがあります。

1 浴そうの循環アダプターのフィルターを左にまわしてはずし、掃除する

①左にまわしてはずし、 ②歯ブラシなどで水洗いする

2 元どおりに取り付ける

①△同士を合わせてはめ込み、 ②右に止まるまで回して固定する。



お手入れ(月1回程度)

機器本体

機器本体の外装の汚れは、ぬれた布で落したあと充分水気をふきとってください。
特に汚れのひどいときには、中性洗剤を使用してください。

リモコン

リモコンの表面が汚れたときは、湿った布でふいてください。

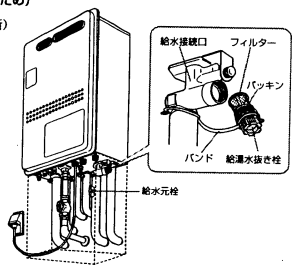
●リモコンの掃除にはベンジンや油脂系の洗剤を使用しないでください。変形する場合があります。
●浴室リモコン・防水型増設リモコンは防水タイプですが、故意に水をかけないでください。
(台所リモコン・増設リモコンは防水タイプではありません。)

給湯水抜き栓(フィルター付)

給湯水抜き栓のフィルターにゴミ等が詰まると、お湯の出が悪くなったりお湯にならない場合がありますので、以下の方法で掃除をしてください。

※お湯の使用後は、機器内のお湯が高温になっていますので、運転「切」にして機器が冷えてからおこなってください。(やけど予防のため)

1. 据置台の前面を開ける。(化粧ネジ2ヶ所)
2. 給水元栓を閉める。
3. すべての給湯栓を開ける。
4. 給湯水抜き栓を外す。(※1)
5. 配管とつながっているバンドから外す。
6. フィルター部分を歯ブラシなどで水洗いする。(※2)
7. 元どおりに給湯水抜き栓を取り付ける。
8. すべての給湯栓を閉める。
9. 給水元栓を開け、給湯水抜き栓の周囲に水漏れがないことを確認する。
10. 据置台の前面を元どおり閉める。



(※1)このとき水(湯)が出るので注意してください。
(※2)水抜き栓からフィルターが外れた場合は、水抜き栓とフィルターの間のパッキンをなくさないように注意してください。

<定期点検のすすめ(有料)>

ご使用上支障がない場合でも、不慮の事故を防ぎ、安心してより長くご使用いただくために、年一回程度の定期点検をおすすめします。販売店にご相談ください。

故障・異常かな？と思ったら-1

「温度」に関すること

給湯栓を開いても お湯が出てこない	＊ガス栓・給水元栓が全開になっていますか？ ＊断水していませんか？ ＊給湯栓は充分開いていますか？ ＊ガスメータ(マイコンメータ)がガスをしゃ断していませんか？ ＊給湯水抜き栓のフィルターにゴミなどが詰まっていませんか？(☞P36) ＊凍結していませんか？ ＊運転スイッチは「切」になっていませんか？
給湯栓を開いても すぐお湯にならない	＊機器から給湯栓まで距離があるので、お湯が出てくるまで少し時間がかかります。
低温のお湯が出ない	＊ガス栓・給水元栓が全開になっていますか？ ＊給湯温度設定は適切ですか？(☞P13,14) ＊水温が高いときに、低温のお湯を少量出そうとすると、お湯の温度が高くなります。 給湯栓をもっと開いてお湯の量を多くすれば、お湯の温度は安定します。
高温のお湯が出ない	＊ガス栓・給水元栓が全開になっていますか？ ＊給湯温度設定は適切ですか？(☞P13,14) ＊お湯はりまたは足し湯中に台所などでお湯を使用すると、ふろ設定温度のお湯が出ます。お湯はりまたは足し湯が終わっても、お湯の使用をいったんやめるまでは、高温のお湯は出ません。(給湯温度設定が高温のときのやけど予防のため) ※リモコンの表示はそのままです。 <例：給湯温度の設定60℃→お湯の温度40℃>
給湯栓を絞ると水になった	＊給湯栓から流れるお湯の量が1分間に約3.5ℓ以下になったとき消火します。 給湯栓をもっと開いてお湯の量を多くすれば、お湯の温度は安定します。
給湯温度の調節ができない	＊台所リモコン・浴室リモコンの両方がある場合、操作しているリモコンの優先ランプは点灯していますか？(☞P14)
おふろのお湯がぬるい おふろのお湯があつい	＊ふろ温度設定は適切ですか？(☞P19) ＊浴そうの循環アダプターのフィルターにゴミや毛髪が詰まっていませんか？(☞P35)
暖房運転中、 放熱器が止まったり 温度が下がったりする	＊追いだき中や終了後しばらくの間は、暖房能力が低下することがあります。 放熱器の運転動作については、それぞれの取扱説明書をご覧ください。

「湯量」に関すること

給湯栓から出るお湯の量が 変化する	＊お湯を使用中、他の場所でお湯を使用したり、おふろの自動沸かしをすると、お湯の量が減る場合があり、水道の圧力や配管条件によっては、極端にお湯の量が減ったり、いったん止まる場合がありますが、しばらくすると安定します。 ＊お湯の温度を安定させるため、お湯の出始めは少なく出し、安定するとお湯をたくさん出すように機器側で制御します。 ＊給湯栓の種類によっては、初め多く出てその後安定するなど、出湯量が変化するものがあります。
おふろの自動沸かしで、 設定した湯量にならない	＊浴そうの循環アダプターのフィルターにゴミや毛髪が詰まっていませんか？(☞P35) ＊ふろ湯量設定は適切ですか？(☞P20) ＊おふろの自動沸かしが完了しないうちにふろ自動スイッチを何度も「切」にしたり「入」にしたりするのを繰り返すと、お湯があふれることがあります。 ＊以下の要領で、記憶しているふろ湯量をリセットして、おふろの自動沸かしをしてください。 1)浴そうが空の状態で排水栓を閉める。 2)浴室リモコンで、運転スイッチ「切」の状態でふろ湯量設定スイッチ△と▽を同時に5秒以上押す。(ピッと鳴るまで) 3)運転スイッチを「入」にし、ふろ湯量を「6」の位置に設定し(☞P20)、ふろ自動スイッチを押す。 4)設定したふろ湯量にほぼなっていることを確認する。 ※この操作をしても改善されないときは、もよりの東京ガスにご連絡ください。

「リモコン」に関すること

運転ランプが点灯しない	＊停電していませんか？ ＊電源プラグが差し込まれていますか？
台所リモコンの液晶表示部が 乱れている	＊乾いた布で拭いた場合、液晶表示が乱れることがあります。(30分以上放置しておくと正常に戻ります)
時計表示が点滅になっている	＊停電後、再通電すると時間表示が点滅表示になる場合がありますので、設定しなおしてください(☞P12)。なお、給湯・ふろ設定温度表示・ふろ湯量表示などもお買い上げ時の設定に変わる場合がありますので、確認してください。

(つづく)

故障・異常かな？と思ったら-2

(つづき)

リモコンの画面表示が いつのまにか消えている	＊表示の節電を「する」に設定した場合、機器を使用しないまま約10分たつと画面表示が消えます(表示の節電)。(☞P30) 再使用したり、スイッチを押すと、表示の節電を解除します。
スイッチを押しても そのスイッチの動作をしない (例)運転スイッチを押して 「切」にしたはずなのに 切れていない など…	<運転※以外のスイッチの場合> ＊表示の節電を「する」に設定した場合、表示の節電中にスイッチを1回押すと表示の節電を解除し、もう1回押すとそのスイッチの機能がはたらきます。 運転「入・切」は、ランプの点灯・消灯で確認してください。
表示の節電の状態にならない	＊表示の節電「する」の設定になっていますか？(☞P30) ＊給湯温度を60℃に設定している場合は、表示の節電にはなりません。 ＊台所リモコンの液晶表示部の画面は、表示の節電になっても消えません。

※運転スイッチ・給湯温度設定スイッチ・ふろ温度設定スイッチ・ふろ湯量設定スイッチ

「音」に関すること

浴そうの循環アダプターから 「ポコ、ポコ」と空気の 出る音がすることがある	＊おふろの配管などにたまった空気が出る音で、異常ではありません。
運転を停止しても しばらくの間ファンの 回転音(ブーン)がする 運転スイッチを「入・切」したり、 給湯栓を開閉したり、 機器の使用後しばらくすると モータが動く音(クックッ、クー) がする	＊再使用時の点火をより早くするため、また、再使用時にお湯の温度を早く安定させるために機器が作動している音です。
ポンプの回転音(ウーン)がする	＊追いだき終了後、お湯をまぜるためにポンプがしばらく回ることがあります。 ＊おふろの自動沸かしの予約時、予約時刻の1～2時間前に、残り湯チェックのためポンプの運転をします。 ＊気温が下がると、凍結予防のため、ポンプで浴そうの水を循環させます。 ＊長期間使用しない場合に、床暖房回路内にたまった空気を抜き、次回使用するときに支障がないようにするためにポンプが自動的に回ります。(1ヶ月ごと)

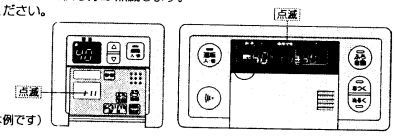
その他

使用中に消火した	＊ガス栓・給水元栓が全開になっていますか？ ＊断水していませんか？ ＊給湯栓は充分開いていますか？ ＊ガスメータ(マイコンメータ)がガスをしゃ断していませんか？
寒い日に排気口から湯気が出る	＊冬に吐く息が白く見えるように排気ガス中の水蒸気が白く見えます。
お湯が白く濁って見える	＊これは水中に溶け込んでいた空気が熱せられて、大気圧まで急速に減圧されることで細かい泡となって出てくる現象です。 ビール・サイダーなどの泡と似た現象であり汚濁とは違い、無害です。
おふろの自動沸かしを始めると にごったお湯が出る	<ふろ配管クリーンの設定(☞P30)をしていない場合> ＊ふろ自動沸かしを始めた直後、配管中の残り湯が若干混入します。特に入浴剤(にごり系)をご使用の場合には目立つ場合があります。
追いだきができない 追いだき中に消火した	＊浴そうの循環アダプター上部より5cm以上お湯または、水が入っていますか？ ＊ポンプの呼び水をしましたか？(☞P11) ＊浴そうの循環アダプターのフィルターにゴミや毛髪が詰まっていませんか？(☞P35)
エアーチャージ栓(過圧防止安全装置)から、お湯(水)が少しの間出ることがある	＊機器内に高い圧力が生じたとき、過圧防止安全装置のはたらきにより、エアーチャージ栓から水滴が落ちることがあります。
浴そうの循環アダプターから お湯が出たり止まったりする	＊ふろ自動スイッチを押すと、残り湯の量を確認するためにポンプが動き、しばらくは循環アダプターからお湯が出たり止まったりします。
おふろを使用していないのに 浴そうの循環アダプターから お湯が出る	＊浴そうのお湯(水)を排水したあと、ふろ配管クリーンがはたらくと、循環アダプターからお湯が出ます。
ふろ配管クリーンが はたらかない	＊次の場合は配管クリーンははたらきません。 ・運転スイッチ「切」の場合 ・ふろ自動スイッチ「入」の場合 ・残り湯が循環アダプター上部より下にある場合 ・追いだき(☞P21)のみでおふろを沸かし上げたあと ・洗濯注湯ユニット(別売品)の使用中または使用したあと (注湯のモードによっては、はたらく場合があります) ・ふろ配管クリーン「切」の場合(☞P30)
水が青く見える 浴そうや洗面台が青く変色した	＊水中に含まれるわずかな銅イオンが水中に溶け出して青色の化合物が生成され、水が青く見えたり、浴そうや洗面台が青く変色したりすることがありますが健康上問題ありません。 浴そうや洗面台はこまめに掃除することにより、発色しにくくなります。
追いだきしないのに 浴そうの水が温かくなる	＊暖房使用中に、ふろの凍結予防(ポンプ自動運転)がはたらくと、浴そうの水が温かくなることがあります。

故障・異常かな？と思ったら-3

故障表示をお調べください

不具合が生じたとき、時計表示部に故障表示が点滅します。
下表に応じた処置をしてください。



表示	原因	処置
002	初めておふろの自動湧かしをするとき、浴そうに水が溜まっていない状態でおこなってください。（それ以降は残り湯があっても自動湧かしができます）	再度ふろ自動スイッチを押すと故障表示が消えますので、次回おふろの自動湧かしをするとき、浴そう内に残り湯がない状態でおこなってください。（それ以降は残り湯があっても自動湧かしができます）
011	給湯を連続60分以上運転したため	給湯栓を閉め、運転スイッチをいったん「切」にし、再度「入」にして使用してください。
032	浴そうの排水栓の閉め忘れ	浴そうの排水栓を閉め、再操作をして表示が出なければ正常です。
111	給湯側の点火エラーが生じたため	運転スイッチを「切」にし、機外※の事項を確認して、問題があれば処置してください。その後運転スイッチを「入」にし、給湯栓を開いて表示が出なければ正常です。
113	ふろ側の点火エラーが生じたため	運転スイッチを「切」にし、機外※の事項を確認して、問題があれば処置してください。その後運転スイッチを「入」にし、あつくスイッチを押し表示が出なければ正常です。
	暖房側の点火エラーが生じたため	運転スイッチと放熱器側の運転を「切」にし、機外※の事項を確認して、問題があれば処置してください。 その後運転スイッチと放熱器側の運転を「入」にして暖房運転をし、表示が出なければ正常です。
161	お湯の温度が設定温度より異常に上がりすぎたため	給湯栓を閉め、運転スイッチをいったん「切」にし、再度「入」にして、給湯栓をもっと開いて使用してください。
562	断水などで水が通っていないため（おふろの自動湧かし、追いだき、足し湯、さし水の時）	給水元栓が開いているか、断水していないか（カランから水が出るか）を確認し、いったん運転スイッチを「切」にし、通水を確認してから再使用してください。
632	おふろの追いだき（あつく）の時、浴そうのお湯（水）が足りない	運転スイッチをいったん「切」にして再び「入」にし、浴そうのお湯（水）を循環アダプターの上部より5cm以上入れてからおふろの追いだき（あつく）をしてください。（☞P21）
901 903	本体の燃焼に異常が生じたため	運転スイッチをいったん「切」にして再び「入」にしてもリセットできない、またはリセットしてもたびたび表示が出る場合は、修理を依頼してください。
101 103	給排気に異常が生じたため、安全のために能力を低下させます	能力低下の状態で使用できますが、安全のため点検を受けてください。
991 993	本体の燃焼に異常が生じたため	修理を依頼してください。

※111、113 確認事項
・ガス栓が開いているか
・ガスメータ（マイコンメータ）がガスを遮断していないか

以下の場合は、販売店または、もよりの東京ガスにご連絡ください
- ●上記以外の表示（例：611など）が出るとき
- ●上記の処置をしてもなお表示が繰り返し出るとき
- ●その他、わからないとき

アフターサービスについて

サービスを依頼されるとき

P37～41の「故障・異常かな？と思ったら」を調べていただき、なお異常のあるときは、販売店または、もよりの東京ガスにご連絡ください。

連絡していただきたい内容
- 品名 ……NR-AD824RFA-RA
- お買い上げ日 …（保証書をご覧ください）
- 異常の状況 ……（故障表示など、できるだけくわしく）
- ご住所・ご氏名・電話番号
- 訪問ご希望日

※作業に危険を伴う場所に製品が取り付けられている場合は、アフターサービスをお断りすることがあります。（工事店にご相談ください。）

保証について

この取扱説明書の裏表紙に保証書がついています。
必ず「販売店名・お買い上げ日等」が記入されているのを確認してください。
保証書の内容をよくお読みになったあとは、大切に保管しておいてください。

無料修理期間経過後の故障修理については、修理によって機能が維持できる場合、有料で修理いたします。

補修用性能部品の最低保有期間について

この製品の補修用性能部品の最低保有期間は、製造打切後7年です。
なお、補修用性能部品とは、製品の性能を維持するための部品です。

移設される場合

転居などで機器を移設されるときは、機器（銘板）に表示してあるガスの種類・電源（電圧・周波数）が移設先と合っているか必ずご確認ください。
不明のときは、移設先のガス事業所、販売店または、もよりの東京ガスにご相談ください。

ガスの種類の異なる地域へ移設されるときは、機器の改造・調整が必要です。この改造・調整に伴う費用は、保証期間中でも有料です。

主な仕様

・本仕様は改良のためお知らせせずに変更することがあります。
・出湯能力は湯水混合の計算値です。
但し、水圧、給湯配管の条件、お湯の設定温度によって多少異なります。
・ガスはJISに規定する標準ガス、標準圧力での値です。

仕様表／能力表

24号		全自動タイプ
型品名		NR-AD824RFA-RA
型式名		GTH-2417AWX3H
種類	給湯方式	先止め式
	設置方式	屋外設置形
点火方式		放電点火式
水圧	使用水圧（kPa）	98.1～981（1.0～10.0kgf/cm²）
	作動水圧（kPa）	9.81（0.1kgf/cm²）
最低作動流量（ℓ/分）		3.5
外形寸法（mm）		高さ750×幅480×奥行240
質量（本体）（kg）		43
接続口径	ふろ（往き・戻り）	QF16ジョイント
	暖房（往き・戻り）	高温往き、戻り：QF16ジョイント　低温往き：CHジョイント×3
	給湯	R3/4
	給水	R3/4
	ガス	R3/4
	オーバーフロー	R1/2
電気関係	電源	AC100V（50/60Hz）
	消費電力（50/60Hz）〈W〉	265／320 （凍結予防ヒータ 145）
	待機時消費電力	運転スイッチ「入」約15W（省電力モード：約4.6W）、「切」約4.2W　<台所：浴室リモコン取付>
過温防止方式		電子式ガス比例制御方式
安全装置		立消え安全装置、空だき防止装置、過熱防止装置、凍結予防装置、過圧防止安全装置、漏電安全装置、空だき安全装置、凍結防止装置、停電時安全装置、ファン回転検知装置、暖房ポンプ回転検知装置、過電流防止装置、誘導雷保護装置

使用ガス		1時間当りのガス消費量（最大消費量）			出湯能力（最大時）〈ℓ/分〉	
		給湯暖房（ふろ）併用	給湯専	暖房（ふろ）側	水温+25℃上昇	水温+40℃上昇
都市ガス（kW(kcal/h)）	13A	69.5（59,800）	52.3（45,000）	17.2（14,800）	24	15
	12A	64.8（55,700）	48.7（41,900）	16.0（13,800）	23	14